

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331A	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ:井手裕子) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	井手裕子		専門	1	必修	2前期

**科目の概要**

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である②③④⑤。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し①、教育(保育)の実践につなげていく④⑤。幼児学ゼミナールⅠでは、岡崎げんき館の活動、子育て支援活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ①④⑤。これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し②③、課題を発見し④、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に課題解決する能力を身につける①④⑤。以上は、ディプロマポリシーに相当する。

学修内容	到達目標
① 研究課題に対し、各自が主体的に取り組み、研究・実践する。 ② 各自の研究課題に対して、必要な素材を集める。 ③ げんき館活動による保育・教育実践の計画及び実施。 ④ 自分の性格、心の一部分を理解するために、心理検査を体験する。 ⑤ 幼児に対する人間関係のスキルアップについて、自ら体験しながら学ぶ。	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。①②③④⑤ ② 研究成果を報告、発表する為の素材を集めることができる。②③④ ③ 岡崎げんき館で子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めるようになる。①②③④⑤ ④ 自分自身を理解することで乳幼児の理解と保護者への理解が向上し、積極的に関係できるようになる。①②③④⑤ ⑤ 保育者として、幼児への教育的配慮が行える。①②③④⑤ ⑥ 以上から、幼児の発達に即した遊びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法—幼児の発達に応じた保育を展開すること、具体的には情報機器、教材使用—を身につけられる。①④⑤

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題を行うために必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	期日までに作品を仕上げるため見の通し(手順や方法)を考えて、確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	あらゆる事象に対して開かれた視点を持ち、課題として見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内の発表等において、聞き手にわかりやすく伝える工夫をすることができる。また、そのための準備(要点の整理、声の大きさ、スピード等)を怠らない態度がある。
	傾聴力	グループワーク等で、人の意見をよく聴き、話し手が何を言いたいのかを察する姿勢を持ち、それに対する自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：なし ※プリントは適宜配布する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：幼児学ゼミナールⅡ  
 資格との関連：幼稚園教諭2種免許、保育士、准学校心理士

学修上の助言	受講生とのルール
乳幼児観察を通して、子どもの発達の経緯を具体的に理解するとともに、母子関係の状態を把握できるようにしていくことが重要である。	調べ学習、発表、グループ討議、相互に教え合う等を行うアクティブ・ラーニング形式の授業に、意欲的に参加すること。集団のなかの自分を意識しながら活動してほしい。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント					
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①	⑥					
			②						
			③						
			④						
			⑤						
	平常評価	小テスト	0	①		⑥			
				②					
				③					
				④					
				⑤					
		レポート	40	①		✓	⑥	✓	自分の研究したいテーマ、研究の方法についてまとめることができる。
				②		✓			
				③		✓			
				④		✓			
				⑤		✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	⑥	✓	・おかげさげんき館でのプレゼンテーションに関する遊び等についてシミュレーションし、発表することができる。 ・自分の研究したいテーマに関連した論文を要約して発表することができる。 ・子育て支援活動の計画を協力して行うことができる。			
		②	✓						
		③	✓						
		④	✓						
		⑤	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	（主体性）調べ学習の自発性 （実行力）実験、観察、地域活動等の課題にも粘り強く取り組むことができる （課題発見力）地域活動等の際、対象のニーズを把握し、問題解決できる。 （創造力）事例や教科書の解説通りでなく、それを土台とした自らの発想を通して問題解決方法を考案したり、支援計画を考えたりすることができる。 （発信力）グループ討議、プレゼン準備の結果を、他者にわかりやすく伝えることができる。 （傾聴力）発信者の意見を自分の立場に置き換え、意図をくみ取りながら聴くことができる。 （状況把握力）効果的な観察を通して対象や自分の置かれた状況を正確に把握することができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合		100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S：成果発表、社会人基礎力（学修態度）、その他の評価方法において、ほぼ完璧に力を発揮した場合。</p> <p>A：上記評価方法において、満遍なく十分な力を発揮した場合。</p>	<p>B：成果発表、社会人基礎力（学修態度）、その他の評価方法において、十分ではないが力を発揮し、もしくは2評価において十分な力を発揮した場合。</p> <p>C：2つの評価において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価において十分な力を発揮した場合。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション	講義 グループ討議 (自己紹介)	1年間のゼミ活動の目標や課題が理解でき、前期の目標が説明できる。 自己紹介により、メンバー間の交流ができる。 親子観察法を学習する。	復習：プリントを見直す。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	げんき館活動準備①	前回の授業のフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 発表	当ゼミのげんき館テーマである「親子で遊ぶう」に添った準備を行う。 手遊び歌の選定準備を協力して行う。 親子観察で見たいものを選定する。	予習：親子観察によって見たい事象を考える。 復習：手遊び歌を調べ、身につける。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	チームで働く力を高める 1, 2年生合同ゼミ	演習	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	復習：レポートを作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	チームで働く力を高める 1, 2年生合同ゼミ	演習	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	復習：レポートを作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	げんき館活動準備②	前回の授業のフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 練習、発表	・げんき館活動の、具体的な計画を作成することができる。 ・タイムスケジュールを組むための話し合いを行うことができる。 ・親子観察の練習を行うことができる。	復習：手遊びを身につける。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	げんき館活動を行う (1回目) ※他ゼミとの予定の兼ね合いで、別の週の内容と入れ替わる場合がある。	地域の親子活動実践	・げんき館に実際に行き、未満児や保護者との遊びを通じた交流を行いながら必要な援助、指導を行うことができる。 ・子ども観察を行うことができる。	予習：手遊び歌、観察法について確認する。 復習：活動を振り返る(げんき館活動振り返りシート)。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	げんき館活動の反省会	前回の授業のフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 レポート	親子観察の結果を話し合い、反省、まとめをすることができる。	復習：反省、今後の課題を記した記録プリントを見直す。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	研究テーマ 母親支援の会について計画立案を行う。 心理学実験について学ぶ	前回の授業のフィードバックおよび解説 計画立案のための討議 グループ討議で実験を決定する。 実験演習	テーマの基礎について興味を持って調べ学習を行うことができる。	予習：自分の研究テーマをさがす。 復習：心理実験のプリントを読み直す。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	研究テーマ 地域の子育て支援活動「赤ちゃんとお母さんとのふれあい広場」準備①	前回授業のフィードバックおよび解説 質疑応答 準備のためのグループ討議	行いたいことの要点をまとめて発表することができる。	予習：研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：テーマをまとめた要点を再度見直す。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	研究テーマ 地域の子育て支援活動「赤ちゃんとお母さんとのふれあい広場」準備②	前回授業のフィードバックおよび解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるための要点をまとめて発表し、その内容について討論することができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：研究のまとめた要点を再度見直す。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	地域の子育て支援活動「赤ちゃんとお母さんとのふれあい広場」開催	発表	会の開催を協力的に行うことができる。	予習：準備を行う。 復習：反省を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	地域の子育て支援活動反省 研究テーマを見つける自分の興味のある論文を演習する	前回授業のフィードバックおよび解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめて発表し、その内容について討論することができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：自分と他者の発表を再度見直す。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	研究テーマを見つける自分の興味のある論文を演習する	前回授業のフィードバックおよび解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめて発表し、その内容について討論することができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：自分と他者の発表を再度見直す。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	レポートの書き方を学修する。	前回授業のフィードバックおよび解説 講義 演習	実際の研究テーマが決まったら、どのように進めていくのかを理解し、実際に書いてみるることができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：研究のまとめた要点を再度見直す	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	オンデマンド 全体の振り返りとまとめを行う。 後期の計画を練る	オンデマンド 前回授業のフィードバックおよび解説、講義 グループ討議 質疑応答	前期のゼミ活動を自らまとめ、整理した文章を発表することができる。 また、後期のゼミ活動について計画立案することができる。	復習：他者の発表や自分の発表を振り返る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331B	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ:伊藤照美) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	伊藤照美		専門	1	必修	2前期

**科目の概要**

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。(DP①)  
 これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。(DP②)  
 また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。(DP⑤)  
 単位としてはⅠとⅡに分かれているが、受講するにあたっては、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの授業と受け止めて欲しい。(DP③)  
 学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。(DP④)

学修内容	到達目標
① いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組む、研究・実践する。 ② 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める ③ 「岡崎げんき館」にて子どもたちを実践的に関わる。	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。(DP④) ② 研究成果を報告、発表するために教材を集めることができる。(DP②③) ③ 岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めるようになる。(DP①⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないこととなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：各ゼミナールにて提示される  
 参考文献：保育所保育指針 飯田聡彦 フレーベル館、幼稚園教育要領 飯田聡彦 フレーベル館、  
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 飯田聡彦 フレーベル館 各¥149+税

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：すべての科目と関連する。  
 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許・準学校心理士(シラバスに記載なし)

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。	・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。
-----------------------------------	---------------------------

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
	レポート	0	①		
			②		
③					
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
総合評価割合		100			

・各ゼミナールの担当教員が評価する。  
 ・「研究報告会への取り組み」や「幼児学ゼミナール抄録集」、「げんき館での活動」が評価される。

(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。  
 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。  
 (課題発見力) 思い込みや臆測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。  
 (想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと、いろいろな方向から考えることができたか。  
 (発信力) 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。  
 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。  
 (規律性) 学習意欲欠如をきたさず行動をせず、ルールを守ることができる。  
 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。                      学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。                      総合評価90以上はS(秀)、89~80はA(優)とする。</p>	<p>各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。                      総合評価79~70B(良)、69~60はC(可)とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナール活動の目的 と内容について確認する 身体表現や遊びを通して 運動の楽しさを理解する	演習	シラバスを読んでおく。	シラバスを参照しておく	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	室内スポーツ活動 球技型2種目選択し企画・立案する	演習 全員で考えてスポーツをする 理解確認 球技各種目を確認し フィードバックする	2種目の球技型スポーツの内容・ルールが理解・習得できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習) 2種目の運動を復習する(復習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	1.2年生合同ゼミナール	演習 理解確認 合同ゼミナールの反省点をあげフィードバックする。	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる	準備運動をしておく(予習) 適度に運動しておく(復習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	1.2年生合同ゼミナール	演習 理解確認 合同ゼミナールの反省点をあげフィードバックする	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる。	準備運動をしておく(予習) 適度に運動しておく(復習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	室内スポーツ活動 集団あそびの企画・立案, 実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 全員で考えてスポーツをする 理解確認 集団あそびについて意見を聞きフィードバックする	オープンキャンパス・ボランティア参加の企画・立案準備。 こどもまつりのテーマソングの踊りの練習、どうぶつ体操などの練習をする。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習復習) 前回選択した球技型2種目の内容・ルールを復習する 準備運動をしておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	室内スポーツ活動 集団あそびの企画・立案, 実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 全員で考えてスポーツをする 理解確認 集団あそびについて意見を聞きフィードバックする	企画した集団あそびの内容・ルールが理解・習得できる。。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習復習) 準備運動をしておく(予習) 前回選択した球技型2種目の内容・ルールを復習する。(復習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	季節に合わせた制作活動① 制作の企画・立案, 実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響 グループで考えたことを教える 理解確認 制作活動についての意見を聞きフィードバックする 「特別講師」	企画した制作について内容が理解・習得できる。	あらかじめ制作について調べておく(予習復習) 制作する物をイメージしておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	季節に合わせた制作活動② 制作の企画・立案, 実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 ビデオ撮影 グループで考えたことを教える 理解確認 制作活動についての意見を聞きフィードバックする 「特別講師」	企画した制作について内容が理解・習得できる。	あらかじめ制作について調べておく(予習復習) 制作する物をイメージしておく(予習)	45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	オープンキャンパス・ボランティア参加の企画・立案準備 こどもまつりのテーマソングの踊りの練習、どうぶつ体操などの確認をする	演習 理解確認 オープンキャンパス、ボランティア、こどもまつり等の意見を聞きフィードバックする。	オープンキャンパス・ボランティア活動の企画立案と準備を積極的に行うことができる。	テーマソング、どうぶつ体操の予習復習をする(予習復習) 適度に運動しておく(予習) オープンキャンパスやこどもまつりで使用する道具など事前に準備しておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	ニュースポーツを子ども向けにアレンジする(ソフトディスクを使った各種のニュースポーツ)実践	演習 グループ討議 グループディスカッション 全員で考えてニュースポーツをする 理解確認 ニュースポーツの準備状況を把握しフィードバックする	積極的に行うことができる。 アレンジして考えたニュースポーツの内容・ルールが習得できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習復習) 事前にニュースポーツを確認しておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	ニュースポーツを子ども向けにアレンジする(ネット型を使った各種のニュースポーツ)実践	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 全員で考えてニュースポーツをする 理解確認 ニュースポーツの準備状況を把握し評価しフィードバックする	積極的に行うことができる。 全員でアレンジして考えたニュースポーツの内容・ルールが習得できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(復習) 事前にニュースポーツを確認しておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	身体表現・リズム体操を考える(2.3歳児のふれあい歌あそびから2~3曲)実践	演習 グループ討議 グループディスカッション パソコンを使用し、身体表現およびリズム体操を調べる。 発表 ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響 各グループで考えたことを教える 理解確認 身体表現・リズム体操の準備状況を把握しフィードバックする	積極的に行うことができる。 発育年齢に応じた動きを考えることができる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習復習) あらかじめ子ども向けの体操を調べておく(予習) 柔軟体操をしておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	身体表現・リズム体操を考える(2.3歳児のふれあい歌あそびから2~3曲)実践	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響 各グループで考えたことを教える 理解確認 身体表現・リズム体操の準備状況を把握し評価しフィードバックする	積極的に行うことができる。 発育年齢に応じた動きを考えることができる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習復習) リズム体操を復習する(復習) 柔軟体操をしておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	実習・就職活動への課題に取り組む	演習 理解確認 実習、就職活動に向けて準備状況を把握しフィードバックする	積極的に行うことができる	実習先・就職希望先を調べておく(予習復習) 課題を準備しておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	オンデマンド授業の振り返りとまとめ	演習 オンデマンド 7.12.13回の授業で実践をビデオで見て自己評価しまとめる 理解確認 総合的に評価しフィードバックする	積極的に行うことができる	授業の振り返り課題を準備しておく(予習・復習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力



2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331C	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ:伊藤智式) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	伊藤智式		専門	1	必修	2前期

**科目の概要**  
 このゼミのテーマは「子どもの遊びを究める」である。実際に子どもの遊びを体験し遊びの楽しさを味わい、新しい遊びを創造すると共に、子どもたちに楽しさを伝える術を学ぶ。また、子どもの遊びや子どもに関する行事についての調査や研究を行う。ここで修得した知識技能を更に活用応用し課題解決の方策を探る。そして、子どもの遊びを究め、保育者としていつも子どもたちに楽しさを伝えられるピエロのような存在になってほしい。そして、これらの学びはディプロマポリシーの①③④⑤に相当する。

学修内容	到達目標
① 子どもの遊び等についての課題を実践する。 ② 個人の研究テーマを設定し、取り組む ③ 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表の準備と実践をする。 ④ 「岡崎げんき館」にて子どもたちと実践的に関わる。	① 実践課題について積極的に取り組み、体得することができる。(ディプロマポリシー③④⑤) ② 個人の研究について主体的に取り組み、成果を出すことができる。(ディプロマポリシー③④⑤) ③ 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、他者と協力し積極的に取り組むことができる。(ディプロマポリシー①③④⑤) ④ 「岡崎げんき館」にて子どもたちと積極的に関わるすることができる。(ディプロマポリシー①③④⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考慮して期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻・無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

**テキスト及び参考文献**  
 テキスト：特になし。 資料を随時配布する。  
 参考文献：特になし

**他科目との関連、資格との関連**  
 他科目との関連：すべての科目と関連する。  
 資格との関連：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加する。</li> <li>勇気を出して前に踏み出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員学生間でのTPOに応じた礼節を重んじる。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
					④					
		レポート		0	①					
					②					
③										
④										
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			90	①	✓					
				②	✓					
	③			✓						
	④			✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓						
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・ゼミの課題に対して積極的に取り組み、ゼミで学んだ研究成果や表現技能、指導法などを応用的に実践することができる。(A)</p> <p>・学習修得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。(S)</p>	<p>・ゼミの課題に対して取り組むことができる。(C)</p> <p>・個人やグループにおいて、研究成果や表現技能などを具体的に実践することができる。(B)</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナールの目的と内容について確認する。	演習	ゼミの活動を理解し、個人の目標を設定できる。	予習としてシラバスを参照しておく。	30	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	子どもの遊び、コマ回し、ビー玉、皿回しを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック パソコンを使用し、クラスルームにて資料提示、撮影した実技動作を分析する。(以後の授業も同様である)	コマ回し、ビー玉、皿回しの遊び方を修得できる。指導法を理解し説明できる。	コマ回し、ビー玉、皿回しの遊び方を復習する。 (撮影した実技動作の映像を利用する。以後の授業も同様)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
3	1.2年生合同ゼミナール 幼児向け運動会	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる。	授業の反省点をまとめる。	30	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
4	1.2年生合同ゼミナール 幼児向け運動会	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる。	授業の反省点をまとめる。	30	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
5	子どもの遊び、ブンブンゴマ、紐を使った玩具、皿回しを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの遊び、ブンブンゴマ、紐を使った玩具、皿回しの遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	ブンブンゴマ、紐を使った玩具、皿回しの遊び方を復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	子どもの外遊び、探偵ごっこ、缶蹴り、ポコペンなどを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの外遊び、探偵ごっこ、缶蹴り、ポコペンなどの遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	探偵ごっこ、缶蹴り、ポコペンなどの遊び方を復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	子どもの遊び、ゴムとび、おはじき、折り紙などを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの遊び、ゴムとび、おはじき、折り紙などの遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	ゴムとび、おはじき、折り紙などの遊び方を復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	子どもの遊びの中で、回転体の原理を利用した遊びについて学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの遊びの中で、回転体の原理を利用した遊びについて理解し説明できる。	回転体の原理を復習し、その応用を考える。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	遊びについての個人研究を深める。子どもの遊び、バルーンアートを学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック パソコンを使い、クラスルームにて個々の学修内容を共有する。 (以後の授業も同様)	遊びについての個人研究のテーマを明確にできる。子どもの遊び、バルーンアートの遊び方を習得できる。	遊びについての個人研究を行う。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	遊びについての個人研究を深める。子どもの遊び、あやとり、ゴムとびを学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	遊びについての個人研究の計画を明確にできる。子どもの遊び、あやとり、ゴムとびの遊び方を習得できる。	遊びについての個人研究を行う。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	ピエロの演じ方と技能について学ぶ。パントマイム、ディアボロ、デビルスティック、シガーボックスなどの技能を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	パントマイム、ディアボロ、デビルスティック、シガーボックスなどの技能ができる。	遊びについての個人研究を行う。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	子どもの昔の遊び、元大中小、メンコ、双六など体験し指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの昔の遊び、元大中小、メンコ、双六などの遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	子どもの昔の遊び、元大中小、メンコ、双六などの遊び方を復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	岡崎げんき館での活動を企画・立案する。	演習、グループ討議、立案用紙の評価	積極的に参加し、岡崎げんき館での活動を企画・立案をできる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性
14	岡崎げんき館での活動計画を再考し、リハーサルをする。	演習、グループ討議、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	岡崎げんき館での活動計画を理解し説明できる。自分の役割を認識し説明できる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	ゼミの学修を振り返り、その成果と今後の課題をまとめる。	オンデマンドにて講義動画を配信する。 パソコンにて、課題を提出し発表する。	半期の学習成果と課題をまとめ発表できる。	(復習) 幼児学ゼミナールⅡに向けての課題をまとめる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331D	指導法研究 I (幼児学ゼミナール I : 福井千夏)	福井千夏	✓	専門	1	必修	2年前期

**科目の概要**

「子どもと“楽しい”を共有できる先生」を目指し、小グループによるゼミナールを行なう。いろいろな教材を保育内容に展開できるように、自主的に取り組み、獲得した知識・技術を活用し、適切に応用する力を身に付ける。1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学修を統合し、保育の実践につなげていく。単位としてはIとIIに分かれているが、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの研究活動である。保育の現場を想定しながら、主体的に課題解決に取り組み、幼児教育の現場で活躍するための専門的知識・技能を習得する。これらの内容はディプロマポリシー①～⑤に相当する。

学修内容	到達目標
① 各自が主体的に取り組み、研究・実践する ② 報告・発表ができるように素材収集を実施する ③ 子どもたちとの実践的な関わりを理解する	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組むことができる (D.P. ①②③④) ② 研究成果を報告、発表のために素材を集めることができる (D.P. ①②③④) ③ 実践に積極的に取り組み、その体験を保育実践に活用できる (D.P. ①③④⑤)

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題解決に必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標到達に向けて、人の力を借りるための声掛けができる。
	実行力	期限内に作品を仕上げるための手順や方法を考え、目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づき客観的に情報を整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループで時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考え、期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないこととなく、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントを整理し、発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を聴き、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	グループ討議では、自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり落ち込んだりしても、長く引きずらず次へ進むことができる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：特になし  
 参考文献：適宜提示する

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：すべての科目と関連する。  
 資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士

**学修上の助言**      **受講生とのルール**

学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加態度や意欲的活動が望まれる。	・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。
---------------------------------------	---------------------------

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
	レポート	0	①		
			②		
③					
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題に対して意欲的に取り組み、発信できる。</li> <li>・課題に対して、チームで協力し課題解決に尽力することができる。</li> <li>・課題に対して、問題意識を持ち、深く考えることができ、その考えをチームに理解してもらうように説明することができる。</li> <li>・「研究課題への取り組み」「活動に対する積極的参加」「げんき館での活動」に対する積極性及び知識を活用し課題に対して応用力が身につけているかを評価する。</li> </ul>
			②	✓	
			③	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>（主体性）</li> <li>・必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができる。</li> <li>（実行力）</li> <li>・一度始めたことは最後までやり切ることができる。</li> <li>（課題発見力）</li> <li>・事実に基づいて客観的に情報を整理し、課題を見極めることができる。</li> <li>（想像力）</li> <li>・固定概念に捉われず、いろいろな方向から考えることができる。</li> <li>（発信力）</li> <li>・予習や講義で身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。</li> <li>（傾聴力）</li> <li>・教員や学生の意見を聴き、さらに自分の意見を述べるることができる。</li> <li>（規則性）</li> <li>・授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。</li> </ul>
			②	✓	
			③	✓	
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>各課題に対して積極的に取り組み、個人、グループにおいて研究成果を具体化し分かりやすく発表することができる。また、学修した知識や技能が保育者として、保育実践で積極的に生かすことができる。</p> <p>総合評価90点以上S(秀)、89～80点A(優)とする。</p>	<p>各課題に対して積極的に取り組み、個人、グループにおいて研究成果を発表することができる。また、学修した知識や技能が保育者として、保育実践で生かすことができる。</p> <p>総合評価79～70点以上B(良)、69～60点C(可)とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミ活動の目的と内容について確認する。 身近な素材を使った保育を展開するための教材について考える。 ゼミ活動の予定を企画立案する。	グループワーク 環境を通じた保育について協議をする。 テーマに沿った活動を計画する。 本日の振り返りをまとめフィードバックする。  本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	シラバスを読み保育教材について知ることができる。 ゼミのテーマを理解し、話し合いに参加する。他者に伝わるように話す。	(予習) シラバスを読んでおく (復習) 保育教材に適したものを研究する	45	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
2	子どもの身近な保育環境を考える。(誕生日会) ※学外活動(おかざき世界子ども美術博物館)	グループワーク 親子造形センターにて、保育現場での誕生日会で活用できるグッズを制作する	誕生日会をイメージしながら様々な素材を使って制作活動ができる。	(予習) 誕生日のバッチや王冠などのイメージを膨らませておく (復習) 制作物を活用した誕生日会の展開を考案する	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	1, 2年生合同ゼミ	演習 「1年生との交流を深める」 本日の振り返りをレポートにまとめフィードバックする。	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(予習) 適度に運動しておくしておく。 (復習) 保育実践に活用する方法を考える。	45	主体性 実行力 規律性
4	1, 2年生合同ゼミ	演習 「1年生との交流を深める」 本日の振り返りをレポートにまとめフィードバックする。	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(予習) 適度に運動しておくしておく。 (復習) 保育実践に活用する方法を考える。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	子どもの身近な保育環境を考える。(壁面制作)	グループワーク 子どもの興味関心を中心にした保育教材を考え話し合う。 本日の活動を振り返りフィードバックする。	身近な素材を保育内容に展開して考えることができる。	(予習) 保育教材となるものを探しておく。 (復習) 様々な年齢に合う保育の展開を考案する。	45	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	子どもの興味に合わせたシアターを研究をする。(手袋シアター, クリアファイルシアター)	グループワーク 演習 どのような材料を使い、子どもの興味に合わせた内容とはどのようなものかを話し合う 演習 題材について研究し、試行錯誤しながら制作する。 作品を解説しフィードバックする。	子どもの発達や興味に合わせたお話や遊びの楽しさを考え、制作することができる。	(予習) 作品の作り方を調べておく。 (復習) 様々な年齢に合う保育の展開を考案する。	45	実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
7	子どもの興味に合わせたシアターを研究をする。(手袋シアター, クリアファイルシアター)	グループワーク 演習 どのような材料を使い、子どもの興味に合わせた内容とはどのようなものかを話し合う 演習 題材について研究し、試行錯誤しながら制作する。 作品を解説しフィードバックする。	素材の選び方によって出来栄の違いに気付く、改善することができる。	(予習) 素材の性質を研究し、改善策を考えておく。 (復習) 様々な年齢に合う保育の展開を考案する。	45	実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	子どもの興味に合わせたシアターを研究をする。(手袋シアター, クリアファイルシアター)	グループワーク 演習 どのような材料を使い、子どもの興味に合わせた内容とはどのようなものかを話し合う 演習 題材について研究し、試行錯誤しながら制作する。 作品を解説しフィードバックする。	子どもの発達に合わせて、工夫して演じられる	(予習) 制作したシアターの演じ方を考えておく。 (復習) 様々な年齢に合う保育の展開を考案する。	45	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	石鹸ケーキ制作を通して遊びの楽しさを知る。	演習 石鹸の性質を考えて泡立てや着色の仕方などを研究し、試行錯誤しながら制作する。作品を解説しフィードバックする。	石鹸の素材を生かした制作方法を知り、作ることができる。	(予習) 石鹸の性質を研究し、石鹸ケーキの作りの改善策を考慮しておく。 (復習) 様々な年齢に合う保育の展開を考案する。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
10	身近な素材を使った保育内容を研究する。(オペレッタ)	グループワーク どのような題材がオペレッタに適しているか話し合う 演習 オペレッタの演じ方について研究し、指導計画を考える。本日の振り返りをまとめ、フィードバックする。	オペレッタの演じ方を知り、保育内容に入れることができる。	(予習) オペレッタの演じ方や必要な材料を調べておく。 (復習) 本日の活動を振り返り、保育実践に活用する方法を考える。	45	主体性 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
11	身近な素材を使った保育内容を研究する。(オペレッタ)	演習 オペレッタで使用する衣装や小道具の製作を楽しみ、作品にする。作品の解説をしフィードバックする。	フェルトやマジックテープなどの素材の性質を理解し、作品作りの方法が分かる。	(予習) どのような手順で作成すると手際よく短時間でできるかを考慮しておく。 (復習) 様々な年齢に合わせた保育展開の方法を考える。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	岡崎げんき館活動計画を企画・立案する。(準備)	演習 ゼミ生全員が協力、役割分担をし活動する。本日の活動を振り返りレポートにまとめ、フィードバックする。	指導計画を立案し、共通理解のもと自分の役割を果たすことができる。	(予習) 企画案を考慮しておく (復習) 役割を自覚し確認する。	45	主体性 課題発見力 発信力 規律性
13	岡崎げんき館での実践計画に従い責任をもって行動をする。(実践活動)	演習 実践計画のもとに親子の前で実践する。本日の振り返りを発表し合い、学んだことをフィードバックする。	実践の中で臨機応変に対応することができる。	(予習) 自分の役割を理解し、実践できるように確認しておく。 (復習) 実践から学んだことを振り返り、改善策を考える。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	岡崎げんき館活動を振り返る。(レポート作成)	演習 岡崎げんき館の活動を振り返り、レポートにまとめる。レポート、実践を解説し、フィードバックする。	自分の課題を理解し、次に生かそうとする。	(予習) 岡崎げんき館の活動を振り返り考えをまとめておく。 (復習) 課題の改善策を考え次に生かせるようにしておく。	45	主体性 課題発見力 発信力 規律性
15	様々な素材を使った保育内容を研究する。	オンデマンド 後期のゼミ活動に向け、動画を参考に活動計画を練る。今までの活動を振り返りレポートにまとめる。	積極的に参加し、発達に合わせた保育内容の展開を考案することができる。	(予習) 様々な素材を活用した保育内容を考えておく。 (復習) 様々な人の視点を知り、さらなる素材の活用方法を考案する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力



2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332E	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:入口 愛) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	入口 愛		専門	1	必修	2後期
<b>科目の概要</b>							
幼稚園教育要領及び保育所保育指針等を踏まえ、各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、地域親子との交流や、「岡崎げんき館」における模擬保育活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学び、抄録集や報告会に向けて研究活動をまとめる。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。これらの内容はディプロマ・ポリシー①②③④⑤に相当する。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 子どもがことばに興味関心を持つような遊びや活動を考え、実践する。 ② ことばに関する知識を増やすとともに、ことばに対する感覚を磨く。 ③ 「岡崎げんき館」での模擬保育活動をとおして、乳幼児への接し方等の実践力を身につける。				① 子どもがことばに興味関心を持つような遊びや活動を考え、実践することができる。(DP③④) ② ことばに関する知識を増やすことができる。(DP②③) ③ 「岡崎げんき館」での模擬保育活動をとおして、乳幼児への接し方等を知り、実践することができる。(DP①③⑤)			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	ゼミナール活動に対し、積極的に関わろうとする言動をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	決められた期限までに課題に取り組み、完成させることができる。					
考え抜く力	課題発見力	ゼミ全体の活動の中で不足している力に気付き、課題の克服に向けて具体的な努力をしていくことができる。					
	計画力						
	創造力	研究活動を抄録集としてまとめ、最終報告会の内容を創り上げることができる。					
チームで働く力	発信力	授業において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。親子との交流において、積極的に語りかけることができる。					
	傾聴力	他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：教員作成プリント							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：すべての開講科目 資格との関連：保育士・幼稚園二種免許							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
幼児学ゼミナールは、保育者養成のすべての学びを総合的かつ実践的に活かしていく授業である。主体的、対話的な姿勢で臨むこと。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・無遅刻・無欠席を厳守すること。</li> <li>・結果のみではなく、過程の意欲と努力を評価する。</li> <li>・ゼミ全体が前向きな雰囲気になる言動を心がけること。</li> </ul>			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			90	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

・報告会等に向けて積極的にグループワークに参加したかどうか、交流活動時の成果と同時に、交流までの取り組みの姿勢を重視した評価をする。  
 ①岡崎げんき館活動  
 ②抄録集作成  
 ③報告会発表

(主体性)  
 セミナール活動に対し、積極的に関わろうとする言動をすることができる。  
 (実行力)  
 決められた期限までに、課題を完成させることができる。  
 (課題発見力)  
 ゼミ全体の活動の中で不足している力に気づき、課題の克服に向けて具体的な努力をしていくことができる。  
 (創造力)  
 研究活動を抄録集としてまとめ、最終報告会の内容を創り上げることができる。  
 (発信力)  
 グループワークやゼミ全体の討議において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。  
 (傾聴力)  
 他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。  
 (規則性)  
 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行うことができる。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>レベルS(秀)の基準は、レポート、発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究が非常に優秀であること、さらに社会人基礎力との総合計が90%以上とする。</p> <p>レベルA(優)の基準は、レポート、発表をにおいて、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究が優秀であること、さらに社会人基礎力との総合計が80%以上、90%未満とする。</p>	<p>レベルB(良)は、レポート、発表、社会人基礎力レポート成果発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究にしっかりと取り組んでいること、さらに社会人基礎力との総合計が70%以上、80%未満であることとする。</p> <p>レベルC(可)の基準は、レポート、成果発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究に自分なりに取り組んでいること、さらに社会人基礎力との総合計が60%以上、70%未満とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	前期の活動を振り返り、後期の活動内容及び役割等について討議し、決定する。	演習 ディスカッション	後期の活動内容とスケジュールについて理解できる。自分の取り組みたい内容を発表し、主体的に関わる意識を持つことができる。	(予習)ゼミナールで挑戦したことを考えておく。 (復習)後期の活動で担当希望の役割を考えておく。	45	主体性 発信力 傾聴力
2	各自、ゼミ活動の中で取り組む内容を考える。後期の活動内容及び役割等について討議し、決定する。	演習 ディスカッション	全体ディスカッションに積極的に関わる努力をすることができる。	(予習)希望の役割を考えておく。 (復習)役割についてさらに検討し、工夫しておく。	45	主体性 発信力 傾聴力
3	抄録集作業① これまでの活動内容を、抄録集としてまとめる。全体構成を決定する。各自の担当箇所を決定する。	演習 ディスカッション	抄録集作成に向けて、積極的に関わる努力をすることができる。	(予習)抄録集に使用する資料を整理しておく。 (復習)担当箇所についての資料を整理する。	45	主体性 実行力 規律性
4	抄録集作業② これまでの活動内容を、抄録集としてまとめる。各担当箇所ページの資料編集作業をする。	演習 情報機器作業	抄録集の担当作業に、自分なりの工夫をし、創り上げることができる。	(予習)担当作業について、手順等を調べておく。 (復習)担当ページの編集作業を進める。	45	実行力 創造力
5	抄録集作業③ これまでの活動内容を、抄録集としてまとめる。全体編集作業をし、第一校を印刷する。	演習 ディスカッション	当日までの準備作業に積極的に取り組むことができる。	(予習)全体レイアウトのアイデア等を検討しておく。 (復習)第一校の校正をする。	45	実行力 課題発見力 創造力
6	幼児学ゼミナール報告会に向けての準備① 報告会の構成、内容、担当を検討し、決定する。	演習 ディスカッション	当日の役割を確認し、リハーサルに取り組むことができる。	(予習)ゼミナール報告会の内容案をまとめる。 (復習)報告会の内容、担当についてさらに検討する。	45	主体性 実行力 創造力
7	岡崎げんき館準備① 岡崎げんき館活動内容を決定する。当日の役割分担と準備、練習について検討する。	演習 練習	参加する子どもたちの発達過程を考慮した内容を考えることができる。	(予習)前期岡崎げんき館を振り返り、改善点等をまとめる。 (復習)自分の役割について確認する。	45	主体性 発信力 傾聴力
8	岡崎げんき館準備② 岡崎げんき館の練習をし、自分及び全体の課題を明らかにする。	演習 練習	岡崎げんき館の練習に、積極的に関わる努力をすることができる。	(予習)自分の役割に関する作業を進めておく。 (復習)課題について取り組んでおく。	45	実行力 創造力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	岡崎げんき館準備③ 岡崎げんき館活動練習 とリハーサルを通して、 創造力を身に付ける。	演習 練習	自分の役割を理解し、 岡崎げんき館活動に向 けて、練習での課題を 解決できるよう努力す ることができる。	(予習) 練習での課題 を練習しておく。 (復習) リハーサルで うまくいかなかった点 を練習しておく。	45	実行力 創造力 発信力
10	岡崎げんき館活動 第1回岡崎げんき館活 動を実施する。 11/26	演習 発表	ゼミメンバーと協力し て、活動することがで きる。	(予習) 岡崎げんき館 活動の流れ等を確認 し、様々な場合を想定 し、言葉かけの内容等 も考えておく。 (復習) 振り返りシー トに記入し、自分の課 題を見出す。	45	創造力 発信力 傾聴力
11	幼児学ゼミナール報告 会に向けての準備② 岡崎げんき館活動をふ り返し、まとめる。 報告会の構成、内容を 決定し、作業に取り掛 かる。	演習	乳幼児への語りかけ 方、接し方、保護者の 方への語りかけ方等に ついて、自分振り返り と同時に、他者の意見 を通して、理解するこ とができる。	(予習) 岡崎げんき館 振り返りシートを完成 させる。 (復習) 報告会の内容 を確認しておく	45	主体性 課題発 見力 状況把 握力
12	幼児学ゼミナール報告 会に向けての準備③ 各担当箇所について、 練習する。	演習	自分の担当箇所につい て、自分なりの工夫を しながら創り上げてい くことができる。	(予習) 子どもたちの 発達過程の適した遊び を考えておく。 (復習) 発表に活動に 必要な製作物の準備を する。	45	主体性 実行力 創造力
13	幼児学ゼミナール報告 会に向けての準備④ 各担当箇所についての 発表、意見交換を通し て、より良い発表内容 を検討する。	演習	責任を持って、担当箇 所の発表ができる。 他学生からの助言を謙 虚な姿勢で受け止める ことができる。	(予習) 自分の役割担当 や言葉について暗記 し、練習しておく。 (復習) うまくできな かった点について、各 自練習する。	45	主体性 実行力 創造力
14	幼児学ゼミナール報告 会の練習及びリハーサ ル	演習	他学生との協力をしな がら、全体の進行がス ムースにいくように配 慮することができる。	(予習) リハーサルで うまくいかなかった点 を練習しておく。 (復習) 岡崎げんき館 振り返りシートに記入 する。	45	主体性 課題発 見力 発信力 傾聴力
15	幼児学ゼミナール報告 会で成果発表をする。	オンデマンド 演習 発表 振り返り	1年間のゼミ活動の成 果発表として、報告会 での役割を果たすこ とができる。	(予習) 報告会の練習に 各自取り組む。 (復習) 保育現場に向 けて、さらなる課題を見 出す。	45	主体性 実行力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331F	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ: 谷村和秀) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	谷村和秀		専門	1	必修	2年前期

**科目の概要**

- ① 1年間、グループでゼミナールを展開していく、お互いが高められるように仲間づくりを行う。
- ② 障がいのある子どもを理解した上で、楽しんでもらえる遊びを考え、実施する。
- ③ 岡崎げんき館の活動では、親子に楽しんでもらえる遊びを考え、実施し、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。  
※これらの内容はディプロマ・ポリシーの①～⑤に相当する。

学修内容	到達目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>① チームメンバーで協働していくことを学ぶ。</li> <li>② 障がいのある子どもを理解したい上で、楽しめる遊びを計画し、実施し、評価する。</li> <li>③ 乳幼児とその保護者が楽しめる遊びの展開方法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① チームメンバーの名前を覚え、意見が交換できるようになる。(D.P.①④)</li> <li>② 障がいのある子どもに対して、遊びが計画し、実施できる。(D.P.②③④⑤)</li> <li>③ 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画し、実施できる。(D.P.②③④⑤)</li> </ul>

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考慮して期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる
	状況把握力	自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するルールを守ることができる
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：特になし  
参考文献：保育所保育指針・幼稚園教育要領

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：すべての開講科目  
資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
幼児学ゼミナールは学生が主体的に活動を行う科目です。だから、与えられた課題は決められた日に提示できるようにすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 無断欠席や遅刻をしない学生</li> <li>② 積極的にゼミ活動に参加できる学生</li> <li>③ 自己選択・自己責任ができる学生</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
	レポート	60	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>① チームメンバーの名前を覚え、意見が交換できるようになる</p> <p>② 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画し、実施できる</p> <p>③ 障がいのある子どもに対して、遊びが計画し、実施できる。</p> <p>※ 総合評価が90点以上はS（秀）、89～80点はA（優）とする</p>	<p>① チームメンバーの名前を覚え、学生の考えや意見が伝えることができる</p> <p>② 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画できる。</p> <p>③ 障がいのある子どもに対して、遊びが計画できる</p> <p>※ 総合評価が79～70点はB（良）、69～60点はC（可）とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	①ゼミメンバーの自己紹介を行う。 ②1年間のゼミナールのスケジュールを確認する ③レクリエーションを通して、ゼミメンバーの交流を行う。	演習	①ゼミメンバーの顔と名前が一致できる。 ②1年間のゼミナールのスケジュールを確認する	(予習) ・ゼミナールのメンバーを確認する。 ・シラバスを確認する (復習) アイスブレイクの方法を考える	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
2	岡崎げんき館活動の準備 ①岡崎げんき館活動に参加する子どもとその保護者の対象を学ぶ ②乳幼児の遊びについて調べる	演習	①岡崎げんき館活動に参加する親子について理解できる ②乳幼児の遊びが理解できる。	(予習) 岡崎げんき館活動について、抄録集を読むこと (復習) 乳幼児の遊びを調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
3	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る	演習 (1・2年合同ゼミ)	①後輩に対する気配りができる	(予習) 1・2年合同ゼミナールで行う内容を確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る	演習 (1・2年合同ゼミ)	①行事の企画・運営方法が理解できる。	(復習) 1・2年合同ゼミナールを企画・運営するのであれば、どのような内容で行うか考える。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、決める。 ②決めた遊びの指導案を考える	演習	①ゼミメンバー間で意見交換ができる。 ②親子を対象とした遊びの指導が考えることができる。	(予習) 前回の演習で調べた遊びを確認する (復習) 演習で作成した指導案を確認する	45	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
6	岡崎げんき館活動 ①子どもやその親に対して、考えた遊びを展開する	演習	①親子に対して考えた遊びが展開できる	(予習) 立案した岡崎げんき館活動の指導案を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動について、評価を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	岡崎げんき館活動を振り返る(レポート作成)	演習(レポート作成) フィードバック	①岡崎げんき館活動とおして、学べたこと・課題を発見する。	(予習) 岡崎げんき館活動の振り返りを行う (復習) 親子に対しての遊びを確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
8	スペシャルオリンピックスのアスリートとの交流でのゼミ活動の準備①～スペシャルオリンピックスとは～ (外部講師 スペシャルオリンピックス日本・愛知 八塚奈保子氏)	講義・演習	①スペシャルオリンピックスについて、理解できる。 ②ヤングアスリートプログラムについて、理解できる。	(復習) スペシャルオリンピックスについて、まとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	スペシャルオリンピックスでのゼミ活動の準備② ～障がいのある子どもに対しての遊びを調べる～	演習	①障がいのある人(知的障がい、発達障がい)の特性が理解できる。 ②障がいのある子どもに対しての遊びが理解できる。	(予習) 知的障がい・発達障がいの特性を調べる。 (復習) 障がいのある人に対しての遊びをまとめる	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	スペシャルオリンピックスでのゼミ活動の準備③ 前回の演習で調べた遊びを挙げ、ヤングアスリートプログラムの企画立案を行う。	演習	障がいのある人に対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で調べたものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	スペシャルオリンピックスでのゼミ活動の準備④ 前回の演習で調べた遊びを挙げ、ヤングアスリートプログラムの企画立案を行う。	演習	障がいのある人に対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で調べたものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	45	主体性 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	スペシャルオリンピックス(ヤングアスリートプログラム)でのゼミ活動① ～実際、学生が立案した遊びを障がいのある子どもに展開を行う	演習	障がいのある人に対しての遊びの展開方法が理解できる	(予習) ①スペシャルオリンピックスの役割を確認する。 ②立案した遊びを確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	スペシャルオリンピックス(ヤングアスリートプログラム)でのゼミ活動② ～実際、学生が立案した遊びを障がいのある子どもに展開を行う～	演習	障がいのある人に関わる視点が理解できる。	(復習) ①スペシャルオリンピックスでの活動を振り返る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
14	スペシャルオリンピックスでのゼミ活動の振り返りを行う(レポート作成)	演習(レポート作成) フィードバック	障がいのある子どもに対しての遊びのプロセスが理解できる	(予習) ①スペシャルオリンピックスでの活動を振り返る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	まとめ(前期の活動まとめ) ・岡崎げんき館活動 ・ヤングアスリートプログラム	オンライン	前期のゼミ活動での学びを確認し、課題を明らかにする	(予習) 岡崎げんき館及びヤングアスリートプログラムの振り返る	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力



2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331G	指導法研究 I (幼児学ゼミナール I : 津島忍) Seminar : Study of Methodology for Infantile Education I	津島忍		専門	1	必修	2前期

**科目の概要**

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実践につなげていく。幼児学ゼミナール I では、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、岡崎げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。この科目はディプロマポリシー①～⑥に相当する内容を身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
<p>① ピアノ連弾の学修では、親子で演奏する連弾曲を2人1組のグループで練習し、基礎的な奏法および表現力を学び、表現することを目的とする。</p> <p>② 岡崎げんき館では「楽器で遊ぼう」をテーマに、楽器を使い親子で楽しむ音楽遊びの実践を行い、保育現場での親子との接し方の基礎を理解する。</p>	<p>① 親子で行うピアノ連弾の音楽表現を支援するための基礎知識と技能を習得できる。(DP①～⑤)</p> <p>② 岡崎げんき館での楽器遊びの実践を通して、保育現場で実践できる基本的な知識や技能を習得できる。(DP①～⑤)</p>

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	課題に取り組むために必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	期限までに作品を仕上げるための手順や方法を考えて、確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて、情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に固定概念に捉われないこと、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：必要に応じて資料を配布する。演奏曲の演奏動画配信および紹介（PC・スマホにて視聴）  
参考文献：必要に応じて資料を配布する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：幼児表現（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、子どもの音楽表現、保育内容（表現）  
資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
連弾の練習の前に個人での予習（練習）が必要である。また連弾の練習においても、時間外での予習・復習（練習）が必ず必要である。積極的な意見の交換が必要である。	2人一組での練習が欠かせないので、最低限守るべきルール・マナー・約束を理解し、相手に迷惑をかけない。げんき館での活動は集団でのチームワークを意識する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
学修成果	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
学修成果	平常評価	レポート	0	①		
				②		
学修成果	平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	
				②	✓	
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・15週目の授業において発表を行い、連弾における表現を支えるに相応しい表現力、技術力を【到達目標の基準】に基づいて評価する。（70点）</li> <li>・岡崎げんき館での活動内容の準備及び本番での活動状況を【到達目標の基準】に基づいて評価する。（20点）</li> </ul>	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
					<ul style="list-style-type: none"> <li>（主体性）（実行力）（課題発見力）</li> <li>・苦手な部分の克服や技術の習得のために自ら練習をすることができる。</li> <li>（創造力）（発信力）</li> <li>・発表・演奏において、学んだことを更に工夫し発表することができる。</li> <li>（傾聴力）</li> <li>・相手と、良くコミュニケーションを取り、迷惑をかけない。グループ活動へ積極的に関わる。</li> <li>（規律性）</li> <li>・遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。</li> <li>・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。</li> </ul>	
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノ連弾においてA（優）は曲を情感豊かに表現し、演奏技術の上達、獲得が顕著にみられる演奏ができる。</li> <li>S（秀）は演奏表現、技術に特に優れ、常に安定した表情豊かな演奏ができる。</li> <li>・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢が特に顕著である。（S、A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノ連弾においてB（良）は曲を間違えることなく最後まで演奏し、演奏技術の上達、獲得がみられる。</li> <li>C（可）は二人で合わせて最後まで演奏することができる。</li> <li>・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢がある。（B、C）</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の進め方(連弾の学修方法について) 岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動に向けての内容・企画の検討と指導案の作成(PC上で作成) 連弾の基本的な知識の学習	講義・演習(ペアでの練習およびペアでの指導、全員参加の企画会議)	連弾曲を個人練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。 企画会議に積極的に参加し、協力して計画を立案検討できる。	(予習) 連弾曲の選曲 (復習) 岡崎げんき館の企画内容の整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動に向けての内容・企画の検討と指導案に基づいた模擬実習の実施と改善(PC上で作成)	演習(個人練習および個人指導) フィードバックはレッスン内で行う。	企画案に基づき、模擬実習を実施し、改善案を提案できる。連弾曲を個人練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習) 岡崎げんき館の企画内容の確認と改善の検討(復習) 岡崎げんき館の企画内容の整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動	演習(全員参加の岡崎げんき館での実践発表)	準備した内容を実施できる。	(予習) 岡崎げんき館の企画内容の確認 (復習) 岡崎げんき館の企画内容の反省点の洗い出し	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動の振り返り(PC上で実施) 連弾の基本的な知識の学習(PC上で実施) 連弾曲のペアでの練習と指導	演習(岡崎げんき館での実践の反省会、個人練習および個人指導) フィードバックはレッスン内で行う。	反省を行い、次回への課題を発見できる。 連弾曲を個人練習し最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習) 岡崎げんき館の企画内容の問題点の洗い出し (復習) 個人での練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	連弾の基本的な知識の学習 連弾曲の個人練習と指導(撮影した演奏をPCで確認)	演習(全員参加の企画会議および模擬実習の実施と改善方法の検討)	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習) 連弾曲の個人練習 (復習) ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	連弾曲のペアでの練習と指導(撮影した演奏をPCで確認)	演習(個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習) 連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習) ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	連弾曲の個人練習と指導(撮影した演奏をPCで確認)	演習(個人練習および個人指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人で練習し、最後まで演奏して指導を理解し実行できる。	(予習) 連弾曲の個人練習 (復習) 問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	連弾曲のペアでの練習と指導(撮影した演奏をPCで確認)	演習(個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ゼミ内での中間発表 到達度の確認	演習（お互いの演奏を聞き合い、現状把握と今度の練習日程の修正） フィードバックはレッスン内で行う。	お互いの演奏を聞き合い、現状把握と今度の練習日程の修正などを検討し、練習に反映できる。	（予習）連弾曲の中間発表に向けての個人およびペアでの練習 （復習）中間発表での講評を受けての問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	連弾曲のペアでの練習と指導（撮影した演奏をPCで確認）	演習（個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	（予習）連弾曲の個人およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	連弾曲のペアでの練習と指導（撮影した演奏をPCで確認）	演習（個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	（予習）連弾曲の個人およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	連弾曲のペアでの練習と指導（撮影した演奏をPCで確認）	演習（個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	（予習）連弾曲の個人およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	連弾曲のペアでの練習と指導（撮影した演奏をPCで確認）	演習（個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	（予習）連弾曲の個人およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	連弾曲のペアでの練習と指導（撮影した演奏をPCで確認）	演習（個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。演奏を撮影し提出する。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	（予習）連弾曲の個人およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	連弾曲の修正と前期の振り返り（撮影した演奏をPCで確認）	オンデマンド 先週撮影した動画を基に、フィードバックを行い、演奏上の問題点や課題を修正していく。	演奏曲を準備し発表することができる。 また振り返りにおいて個人およびペアの反省点を述べることができる。	（予習）連弾曲の発表に向けての個人およびペアでの練習 （復習）発表での講評を受けての問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331H	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ:服部壮一郎) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	服部壮一郎		専門	1	必修	2年前期

**科目の概要**

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、保育・幼児教育の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅠでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、課題を解決するために必要な保育・教育の素材を集める(ディプロマ・ポリシー②③④)。また、岡崎げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ(ディプロマ・ポリシー①③⑤)。

学修内容	到達目標
① 読み聞かせの実践などを通じて自分の研究課題を考える。 ② 岡崎げんき館において「おはなし会」を開催する。 ③ 研究成果を報告・発表できるように素材を集める。	① 自分の研究課題を決定することができる。(ディプロマ・ポリシー③④) ② 「おはなし会」を通じて物語の世界を伝えることができる。(ディプロマ・ポリシー①③⑤) ③ 研究成果の報告・発表のために素材を集めることができる。(ディプロマ・ポリシー②③④)

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、テキストを使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	自分ひとりではできないときに人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：なし  
 参考文献：代田知子『読み聞かせわくわくハンドブック～家庭から学校まで～』一声社、2001年、1200円。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：すべての科目と関連する。  
 資格との関連：保育士、准学校心理士

学修上の助言	受講生とのルール
積極的な参加態度や意欲的活動が望まれる。	学生相互の協力関係が大切である。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント						
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①							
				②							
				③							
	小テスト		0	①							
				②							
				③							
	レポート		0	①							
				②							
③											
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓							
			②	✓							
			③	✓							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓							
			②	✓							
			③	✓							
総合評価割合		100									

自分の研究課題を達成するために必要な知識や情報を積極的に獲得している。  
岡崎げんき館でのおはなし会の開催に向けて、これまでに獲得した知識や情報を活用し、自分たちの課題を解決している。

(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を文献を使って自己学修をすることができたか。  
(実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。  
(課題発見力) 思い込みや臆測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。  
(想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。  
(発信力) 予習や講義で身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。  
(傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。  
(規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>与えられた課題に積極的に取り組み、自分の研究課題を主体的に決定することができる。おすすめの絵本を魅力的に紹介することができる。振り返りレポートを提出することができる。</p> <p>おはなし会の開催に向けて協力的に活動し、当日参加した親子に物語の世界を伝えることができる。年齢に応じた絵本、テーマに合った絵本の選定、絵本に関心を集める導入、適切な語りなどができる。</p> <p>総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。</p>	<p>与えられた課題に取り組むことができる。おすすめの絵本を紹介することができる。振り返りレポートを提出することができる。</p> <p>おはなし会の準備に参加し、おはなし会を開催することができる。おはなし会のプログラムを作成し、当日に無断欠席をしない。</p> <p>総合評価79～70はB（良）、69～60はC（可）とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナールの目的と内容について確認する。 ゼミ活動の予定を企画・立案する。	演習 目標を評価し、フィードバックする。	ゼミの活動を理解し、個人の目標を設定する。	(予習) シラバスを読む。 (復習) ゼミ活動の目的を確認する。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	各自おすすめの絵本を紹介し、それぞれの絵本の特徴を考察する。	演習 グループワーク 絵本の上手な読み方についてフィードバックする。	ゼミ生の前で絵本の読み聞かせをすることができる。	(予習) おすすめの絵本を選定する。 (復習) ほかの人が選んだ絵本を読む。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	1・2年合同ゼミ (1) : 1年生との交流	演習 1年生との交流企画を実施し、コミュニケーションスキルを高める。	1年生と交流し、一緒に楽しむことができる。 交流企画についてフィードバックする。	(予習) 交流企画の準備 (復習) 交流企画の反省	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	1・2年合同ゼミ (2) : チームごとの交流	演習 1年生との交流企画を実施し、コミュニケーションスキルを高める。 交流企画についてフィードバックする。	グループ活動に取り組み、学生同士の交流を深めることができる。	(予習) 交流企画の準備 (復習) 交流企画の反省	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
5	図書館(アンフォーレ)の探索	演習・学外活動 図書館における展示についてフィードバックする。	図書館における絵本展示の工夫を説明できる。	(予習) 事前に図書館の情報を調べておく。 (復習) 学外活動を通じて分かったことをレポートにまとめる。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
6	おはなし会の見学 (1) : 岡崎市立中央図書館(リブラ)	演習・学外活動 おはなし会の特徴についてフィードバックする。	図書館でのおはなし会の特徴を説明できる。	(予習) 今回のおはなし会について調べておく。 (復習) 今回のおはなし会の特徴をレポートにまとめる。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
7	おはなし会の見学 (2) : 矢作市民センター	演習・学外活動 おはなし会の特徴についてフィードバックする。	公民館でのおはなし会の特徴を説明できる。	(予習) 今回のおはなし会について調べておく。 (復習) 今回のおはなし会の特徴をレポートにまとめる。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
8	岡崎げんき館での活動計画を企画・立案する。	演習 PC等を利用し、絵本や手遊び歌などを検索する。 おはなし会の構成についてフィードバックする。	ゼミ活動に積極的に参加し、自分の意見を伝えることができる。	(予習) 読み聞かせの練習を行う。 (復習) 課題を克服する方法を考える。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	岡崎げんき館での活動計画をもとに役割分担を決める。	演習 PC等を利用し、絵本や手遊び歌などを検索する。 おはなし会の企画内容についてフィードバックする。	ゼミ活動に積極的に参加し、自分の意見を伝える。	(予習) 読み聞かせの練習を行う。 (復習) 課題を克服する方法を考える。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	岡崎げんき館での活動計画をもとにリハーサルをする。	演習 PC等を利用し、絵本や手遊び歌などを検索する。 おはなし会のリハーサルについてフィードバックする。	ゼミ活動に積極的に参加し、自分の意見を伝える。	(予習) 読み聞かせの練習を行う。 (復習) 課題を克服する方法を考える。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11	岡崎げんき館での活動計画をもとに実践する。	演習 グループワーク 実践した結果を評価し、フィードバックする。	活動計画の企画・立案に積極的に参加する。	(予習) おはなし会当日の打ち合わせをする。 (復習) 岡崎げんき館での活動を振り返り、レポートにまとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	美術館または絵本専門店の見学	演習・学外活動	展示方法の工夫を説明することができる。	(予習) 展示内容を事前に調べておく。 (復習) 見学した感想をレポートにまとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「みんないっしょのクリスマス会」の準備をする。	演習 グループワーク PC等を利用し、絵本や手遊び歌などを検索する。 準備状況を評価し、フィードバックする。	活動計画をもとに自分の役割を理解できる。	(予習) 自分の役割を確認する。 (復習) 企画の準備をする。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「みんないっしょのクリスマス会」の準備をする。	演習 グループワーク PC等を利用し、絵本や手遊び歌などを検索する。 準備状況を評価し、フィードバックする。	他の学生と協力することができる。	(予習) 自分の役割を確認する。 (復習) 企画の準備をする。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
15	前期のまとめ	オンデマンド それぞれの取り組み評価し、フィードバックする。	課題をアップロードすることができる。	(予習) これまでに自分が学んだことを記録する。 (復習) 他の学生と学んだことを共有する。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力



2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331I	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ:本多峰和) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	本多峰和		専門	1	必修	2年前期

**科目の概要**

「音楽表現を考えよう」をゼミタイトルとする。音楽表現は様々である。ピアノやバイオリンなどの楽器演奏。声楽、合唱、ゴスペル、そしてボディパーカッション、バレエ、ミュージカル、ダンスなど、さらに幼児においては手あそび、体あそびなど動きを伴う音楽、また童歌や唱歌、童謡、こどもの歌、器楽演奏など、実に多様である。どのように音楽を表現するか、表現の仕方でも伝わり方も変わってくる。このように多様な音楽表現における視野を広く持つことを目的とし、各自が主体的に子どもたちにおける音楽表現を研究する。また、岡崎げんき館では親子で楽しく歌ったり踊ったりする内容を考え、現場で活かせる実践活動を目指とする。学びの過程で課題を発見し、習得した知識や技術を活用し、自分なりに課題解決できる力を身につける。(D.P.①③⑤)

学修内容	到達目標
① 「唱歌」「童謡」「童歌」の違い、舞台芸術である「ミュージカル」「バレエ」「オペラ」の違いを認識する。 ② 「手あそび」「体あそび」の表現を考察する。 ③ 音楽表現の視野を広げ、保育に活かせる音楽表現を創造する。 ④ 岡崎げんき館に向けて指導案を作成する。 ⑤ 岡崎げんき館の活動において、子どもたちと保護者に積極的に関わり、保育をさらに理解する。	① 「唱歌」「童謡」「童歌」「ミュージカル」「バレエ」「オペラ」の違いについて説明することができる。(D.P.③) ② 「手あそび」「体あそび」の表現を考察することができる。(D.P.③) ③ 音楽表現の視野を広げ、保育に活かせる音楽表現を自分なりに表現することができる。(D.P.③) ④ 岡崎げんき館に向けて指導案を考察することができる。(D.P.③) ⑤ 岡崎げんき館の活動において、子どもたちと保護者に積極的に関わるすることができる。(D.P.①③⑤)

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題を行うために必要な知識について、文献を使って自己学習をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	実践を行うための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考慮して期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

**テキスト及び参考文献**

参考文献: 「子どものあそびとうた」小泉文夫著、「童謡はどこへ消えた」服部公一著、「唱歌・童謡ものがたり」読売新聞文化部、「唱歌・童謡の世界」金田一春彦著、「唱歌・童謡100の真実」竹内貴久雄著、「童謡の風景1・2・3」合田道人文 村上保絵、「わらべうたが子どもを救う」大島清・大熊進子・若井正浩著、「オペラでわかるヨーロッパ史」加藤浩子著、「オペラへの招待」ジョン・ルイス・デイガニエターニ著、「オペラ史 上」D・J・グラウト著、「オペラのすべて」アレクサンドロ・タヴェルナ著、「知識ゼロからの ミュージカル入門」塩田明弘著、「ミュージカルおもしろ雑学事典」石原隆司著、「ブロードウェイ・ミュージカル」井上一馬著、「ミュージカル史」小山内伸著、「バレエの世界へようこそ: あこがれのバレエ・ガイド」リサ・マイルズ著、「ビジュアル版バレエ・ヒストリー バレエ誕生からバレエ・リュスまで」芳賀直子著、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著、「保育内容 音楽表現」大畑祥子編著、「幼児の音楽教育」音楽教育研究会編、「世界のあそび歌35/40」後藤田純生著、「なぜ、いま学校で「表現教育」なのか?」芸田協出版部、「幼児期」岡本夏木著、

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連: 幼児表現(音楽Ⅰ)(音楽Ⅱ)(音楽Ⅲ)、子どもの音楽表現  
 資格との関連: 保育士資格、准学校心理士

学修上の助言	受講生とのルール
積極的な参加および活動。	欠席をしない。学生相互の協力関係。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標					各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①								
				②								
				③								
				④								
				⑤								
	平常評価	小テスト		0	①							
					②							
					③							
					④							
					⑤							
		レポート		20	①							岡崎げんき館での活動についての振り返りおよび反省レポートを提出し、評価する。（1000～1200字） 学外授業の振り返りレポートを評価する。（1000字） 後日提出したものは80%の評価とする。
					②							
					③	✓						
					④	✓						
					⑤	✓						
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		70	①	✓					「岡崎げんき館へ向けての活動」：準備段階での積極的な意見や発言、協調性。そして「幼児学ゼミナール中間報告会」「幼児学ゼミナール報告会」「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」に対する意欲的な取り組みを評価する。 各自「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」について調べたことを発表する。後日発表したものは80%の評価とする。			
			②	✓								
			③	✓								
			④	✓								
			⑤	✓								
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓					<small>（主体性）</small> 課題に取り組むにあたり、必要な知識を文献を用いて自己学習することができたか。 <small>（実行力）</small> 一度決めたことは最後までやり切ることができたか。 <small>（課題発見力）</small> 思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 <small>（創造力）</small> 物事を考える時に、固定観念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 <small>（発信力）</small> 予習や講義で身に付けた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 <small>（傾聴力）</small> 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 <small>（規則性）</small> ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。			
			②	✓								
			③	✓								
			④	✓								
			⑤	✓								
総合評価割合			100									

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) の基準 協調性を持ち、積極的で真面目な取り組みができおり、研究課題に対して深く理解をしている。</p> <p>A (優) の基準 協調性を持ち、積極的で真面目な取り組みができおり、研究課題に対して理解をしている。</p>	<p>B (良) の基準 協調性を持ち、真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。</p> <p>C (可) の基準 協調性を持ち、研究課題に対して理解をしている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミの概要説明	講義 グループワーク	ゼミ内容を理解し、「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」から興味のあるものを選択する。ゼミの内容を理解できる。	(復習)「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」のおさらい。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
2	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」をまとめる。	調べ学習 フィードバック(調べ学習の内容を評価する)	文献を使い積極的に課題に取り組むことができる。	(予習)調べ学習の参考図書を準備しておく。 (復習)調べたことを見直し、さらに調べべきことを追求する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 規律性
3	チームで働く力を高める 1・2年生合同ゼミ	演習 グループワーク	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(復習)レポートを作成する	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
4	チームで働く力を高める 1・2年生合同ゼミ	演習 グループワーク	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(復習)レポートを作成する	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
5	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」を各自まとめる。	調べ学習 ディスカッション フィードバック(調べ学習の内容を評価する)	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」を分かりやすく発表できるようまとめる。積極的に課題に取り組む、分かりやすくまとめることができる。	(予習)調べたことを見直し、さらに調べべきことを追求する。 (復習)調べたことを見直し、さらに調べべきことを追求する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 規律性
6	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」をまとめたものを発表する。	調べ学習 ディスカッション 発表 フィードバック(調べ学習、発表の内容を評価する)	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」を各自発表する。自信を持って発表することができる。	(予習)調べたことを見直し、さらに調べべきことを追求する。 (復習)「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」の各レジュメを見直す。	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
7	「手あそび」「体あそび」の音楽表現について考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「手あそび」「体あそび」の音楽表現について考え年齢にあった「手あそび」「体あそび」の表現を考えることができる。	(予習)興味のある「手あそび」「体あそび」を発表できるようにする。 (復習)授業で扱わなかった「手あそび」「体あそび」について保育との関連性を考える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 規律性
8	表現について考える。専門的な芸術作品に触れ感性を磨き自身の表現力を向上させる。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	感性を磨き自身の表現力を向上することができる。	(予習)興味のある芸術作品を発表できるようにする。 (復習)授業で扱わなかった芸術作品にも興味を持ち、感性を磨く。自分なりの芸術鑑賞ができる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ミュージカルから、保育に活かせる音楽表現について考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック(討議内容を評価する)	ミュージカルを参考にし、保育に活かせる音楽表現について考えることができる。	(予習) ミュージカルに興味を持つ。 (復習) 興味を持ったミュージカルの鑑賞。	90	主体性 働きかけ力 創造力 柔軟性 規律性
10	バレエ、ダンスから、保育に活かせる音楽表現について考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック(討議内容を評価する)	バレエ、ダンスを参考にし、保育に活かせる音楽表現について考えることができる。	(予習) バレエやダンスに興味を持つ。 (復習) 興味を持ったバレエやダンスの鑑賞。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
11	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	自身のアイデアや意見交換をしながら活動内容を考える。	(予習) 絵本の下調べをしておく。 (復習) 絵本の読み聞かせのおさらい。0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた・唱歌・童謡を考えておく。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
12	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「岡崎げんき館」で使用する絵本を吟味する。声に出して読んだり聞くことで「岡崎げんき館」で行う読み聞かせのイメージができる。	(予習) 手作り楽器を調べておく。 (復習) 0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた・唱歌・童謡のおさらい。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
13	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「岡崎げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業し、質のよい手作り楽器を目指す。	(予習) 岡崎げんき館で行う手あそび、体あそびなど自信を持って行えるようにする。 (復習) 手作り楽器の補修など安全面に配慮する。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
14	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「岡崎げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業し、質のよい音色を目指す。	(予習) 岡崎げんき館で行う内容を把握しておく。 (復習) 岡崎げんき館で行う内容(変更など)を把握し、手作り楽器の補修など安全面にもう一度配慮する。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性 ストレスコントロール力
15	「岡崎げんき館」での活動の振り返りおよび振り返り	オンデマンド 岡崎げんき館での活動をビデオで振り返り、レポート提出。	「岡崎げんき館」での活動を振り返り、レポートにまとめる。 「岡崎げんき館」での活動を各自が振り返ることで今後の活動を高めることができる。	(予習) 岡崎げんき館で行う内容(変更など)を把握し、手作り楽器の補修など安全面にもう一度配慮する。 (復習) 岡崎げんき館での活動の反省と振り返りをする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

## 2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331J	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ:山本辰典) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	山本辰典		専門	1	必修	2前期
<b>科目の概要</b>							
各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、色々な課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実戦につなげていく。 幼児学ゼミナールⅠでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。 学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。 本授業は、ディプロマポリシーの①～⑤全てに相当し、これらを身につけるために行う。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができるようにする。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。				① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができる。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。 ③ ディプロマ・ポリシーの①～⑤全てに相当する。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	自ら進んで学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	提出物の期限を守ることができる。					
考え抜く力	課題発見力	指導案、レポートを作成する上で、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	指導案、レポートを作成する上で、創造力を発揮することができる。					
チームで働く力	発信力	指導内容を熟知した上で、指導ができる。ものづくり計画を立案し、発信することができる。					
	傾聴力	計画者の案を理解し、グループ活動することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：なし 参考文献：なし							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：幼児表現(造形Ⅰ)、幼児表現(造形Ⅱ)、保育内容(表現)、子どもの造形 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許・(准)学校心理士)							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
・学ぶという自覚を持って取り組んでほしい。				・全ての提出物を出さないと及第しない。 ・提出期限に遅れた場合は減点する。 ・授業態度が悪い場合は減点することがある。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
	レポート	0	①		
			②		
③					
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	
			②	✓	
			③		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>グループ内で協力しながら、子どもの育ちを理解し、適した造形あそびを計画立案し、指導案を完成させ、実施することができるようにする。</p> <p>子どものことを考えながら、造形素材について会得し、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。</p> <p>S(秀)になるためには、全課題の合計が90点以上であること。</p>	<p>子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができる。</p> <p>造形素材のレポートを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。</p> <p>Cについては、15週予定表参照のこと。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション	講義	授業内容を理解することができる	(復習) 授業で学修したことを復習する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
2	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
3	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
4	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
5	造形あそびの実践① (岡崎げんき館活動)	学外活動 フィードバック (活動の評価)	計画した内容に基づいて子どもの指導ができる 親と関わることができる	(予習) 活動の準備できていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 傾聴力
6	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
7	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
8	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備できていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習)活動の準備でできていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
10	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習)活動の準備でできていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
11	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(演習の評価)	計画立案できる	(予習)グループ活動の内容を考えておく。 (復習)グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
12	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(演習の評価)	計画立案できる	(予習)グループ活動の内容を考えておく。 (復習)グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
13	ものづくり活動の実践② (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習)活動の準備でできていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
14	ものづくり活動の実践② (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習)活動の準備でできていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
15	前期の活動動画を視聴し、個人または、グループで反省を行う。	オンデマンド	前期の活動の反省を行うことができる。	(予習)オンデマンドの環境の準備を行う。 (復習)反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力



2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332A	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ：井手裕子) Seminar : Study of Methodology For Infantile EducationⅡ	井手裕子		専門	1	必修	2後期

**科目の概要**

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である②③④⑤。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し①、教育(保育)の実践につなげていく④⑤。幼児学ゼミナールⅡでは、幼児学ゼミナールⅠと同様岡崎げんき館の活動、子育て支援活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ①④⑤。これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍するための専門的知識・技能を修得し②③、課題を発見し④、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に課題解決する能力を身につける①④⑤。以上は、ディプロマポリシーに相当する。

学修内容	到達目標
① 研究課題に対し、各自が主体的に取り組み、研究・実践する。 ② 各自の研究課題に対して、必要な素材を集める。 ③ げんき館活動による保育・教育実践の計画及び実施。 ④ 自分の性格、心の一部分を理解するために、心理検査を体験する。 ⑤ 幼児に対する人間関係のスキルアップについて、自ら体験しながら学ぶ。 ⑥ 学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身につける。	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。①②③④⑤ ② 研究成果を報告、発表する為の素材を集めることができる。②③④ ③ 岡崎げんき館で子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めるようになる。①②③④⑤ ④ 自分自身を理解することで乳幼児の理解と保護者への理解が向上し、積極的に関係できるようになる。①②③④⑤ ⑤ 保育者、幼稚園教諭として、乳幼児への教育的配慮が行える。①②③④⑤ ⑥ 学びの過程で課題を発見し、修得した知識を活用しながら課題解決できる力を身につけることができる。①④⑤ ⑦ 以上から、幼児の発達に即した遊びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法—幼児の発達に応じた保育展開、具体的には情報機器、教材使用—を身につけることができる。①②③④⑤

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	期日までに作品を仕上げるための見通し(手順や方法)を考えて、確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	あらゆる事象に対して開かれた視点を持ち、課題として見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内の発表等において、聞き手にわかりやすく伝える工夫をすることができる。また、そのための準備(要点の整理、声の大きさ、スピード等)を怠らない態度がある。
	傾聴力	グループワーク等で、人の意見をよく聴き、話し手が何を言いたいのかを察する姿勢を持ち、それに対する自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：なし ※プリントは適宜配布する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：幼児学ゼミナールⅠ  
資格との関連：幼稚園教諭2種免許、保育士、准学校心理士

学修上の助言	受講生とのルール
乳幼児観察を通して、子どもの発達の経緯を具体的に理解するとともに、母子関係の状態を把握できるようにしていくことが重要である。	調べ学習、発表、グループ討議、相互に教え合う等を行うアクティブ・ラーニング形式の授業に、意欲的に参加すること。集団のなかの自分を意識しながら活動してほしい。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント					
学修成果	学期末試験	0	①	⑥					
			②	⑦					
			③						
			④						
			⑤						
	平常評価	小テスト	0	①		⑥			
				②		⑦			
				③					
				④					
				⑤					
		レポート	40	①		✓	⑥	✓	自分の研究したいテーマ、研究の方法についてまとめることができる。
				②		✓	⑦	✓	
				③		✓			
				④		✓			
				⑤		✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	⑥	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>げんき館でのプレゼンテーションに関する遊び等についてシミュレーションし、発表することができる。</li> <li>地域の子育て支援活動を積極的に行うことができる。</li> <li>自分の研究したいテーマに関連した論文を要約して発表することができる。</li> </ul>			
		②	✓	⑦	✓				
		③	✓						
		④	✓						
		⑤							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	(主体性) 調べ学習の自発性 (実行力) 実験、観察、地域活動等の課題にも粘り強く取り組むことができる (課題発見力) 地域活動等の際、対象のニーズを把握し、問題解決できる。 (創造力) 事例や教科書の解説通りでなく、それを土台とした自らの発想を通して問題解決方法を考案したり、支援計画を考えたりすることができる。 (発信力) グループ討議、プレゼン準備の結果を、他者にわかりやすく伝えることができる。 (傾聴力) 発信者の意見を自分の立場に置き換え、意図をくみ取りながら聴くことができる。 (状況把握力) 効果的な観察を通して対象や自分の置かれた状況を正確に把握することができる。 (規律性) 学習意欲欠如をきたさず行動をせず、ルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓	⑦	✓			
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合		100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：成果発表、社会人基礎力（学修態度）、その他の評価方法において、ほぼ完璧に力を発揮した場合。 A：上記評価方法において、満遍なく十分な力を発揮した場合。	B：成果発表、社会人基礎力（学修態度）、その他の評価方法において、十分ではないが力を発揮し、もしくは2評価において十分な力を発揮した場合。 C：2つの評価において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価において十分な力を発揮した場合。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション げんき館活動準備①	講義 グループ討議	1年間のゼミ活動の目標や課題が理解でき、後期の目標が説明できる。 げんき館活動の準備を具体的に進めることができる。	予習：げんき館の活動を考えてくる  復習：オリエンテーションのプリントを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	げんき館活動準備②	前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 発表	・げんき館活動の、具体的な計画を作成することができる。 ・タイムスケジュールを組むための話し合いを行い、親子観察の準備を整えることができる。	予習：親子観察によって見たい事象を考える。  復習：手遊び歌を調べ、身につける。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	げんき館活動を行う(2回目) ※他ゼミと予習：親子観察によって見たい事象を考える。	地域活動実践	・げんき館に実際に行き、未満児や保護者との遊びを通じた交流を行う。必要な援助、指導を行うことができる。 ・子ども観察を行うことができる。	予習：手遊び歌、観察法について確認する。  復習：活動を振り返る(げんき館活動振り返りシート)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	げんき館まとめ	グループ討議 げんき館についてのレポートを書く	親子観察の結果を話し合い、反省、まとめをすることができる。	復習：反省、今後の課題を記した記録プリントを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	中間報告の準備	前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 講義 グループ討議	ゼミ活動について、中間報告の準備に取り掛かることができる。	復習：準備の具体的なプリントを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	中間報告の準備 研究テーマの論文を演習する	前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 演習	自分の調べたテーマの基礎について理解できる。 協力しながら、プレゼンテーションの準備を行うことができる。	予習：研究テーマを考えてくる。  復習：自分の研究に関する資料を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	中間報告の準備	前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 演習	自分の調べたテーマの基礎について理解できる。 協力しながら、プレゼンテーションの準備を行うことができる。	復習：プリントを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	調べたテーマについてのまとめを行い、研究テーマの論文作成を開始する。	前回のフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 演習	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめることができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。  復習：研究のまとめた要点を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	研究テーマについての活動	発表 質疑応答	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめて発表することができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：研究のまとめた要点を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	研究テーマについての活動	前回のフィードバック および解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめて発表し、その内容について討論することができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：研究のまとめた要点を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	研究テーマについての活動	前回のフィードバック および解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめて発表し、その内容について討論することができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：他者の発表を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ゼミ抄録集の原稿作成	前回のフィードバック および解説  演習	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめて発表し、その内容について討論することができる。 活動内容を文章化できる。	復習：他者の発表を再度見直す	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ゼミ抄録集の原稿作成	前回のフィードバック および解説  演習	活動内容を文章化できる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：他者の発表を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	ゼミ報告会の現行作成 リハーサルの実施	前回のフィードバック および解説  演習	活動内容を文章化できる。	復習：まとめた要点を再度見直す	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	ゼミナール報告会本番 発表	ゼミナール報告会 発表	発表に関し、傾聴力、実行力を発揮し、協力しあって1つの活動を行うことができる。 活動内容を文章化できる。	復習：他者の発表や自分の発表を振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332B	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:伊藤照美) eminar: Study of Methodology for Infantile Education II	伊藤照美		専門	1	必修	2後期

**科目の概要**

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。(DP①)  
 これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。(DP②)  
 また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。(DP⑤)  
 単位としてはⅠとⅡに分かれているが、受講するにあたっては、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの授業と受け止めて欲しい。(DP③)  
 学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。(DP④)

学修内容	到達目標
① いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組む、研究・実践する。 ② 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める。 ③ 「岡崎げんき館」にて子どもたちを実践的に関わる。	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めることができる。(DP④) ② 研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる。(DP②③) ③ 岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めることができる。(DP①⑤)

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないこととなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：各ゼミナールにて提示される  
 参考文献：幼保連携型認定こども園教育、幼稚園教育要領

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：すべての科目と関連する。  
 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。	・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	小テスト		0	①				
				②				
				③				
	レポート		0	①				
				②				
③								
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			<ul style="list-style-type: none"> <li>各ゼミナールの担当教員が評価する。</li> <li>「研究報告会への取り組み」や「幼児学ゼミナール抄録集」、「げんき館での活動」が評価される。</li> </ul>	
			②	✓				
			③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			<ul style="list-style-type: none"> <li>(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。</li> <li>(実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。</li> <li>(課題発見力) 思い込みや臆測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。</li> <li>(想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。</li> <li>(発信力) 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。</li> <li>(傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。</li> <li>(規則性) 無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。</li> <li>欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。</li> </ul>	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。</p> <p>学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。</p> <p>総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。</p>	<p>各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。</p> <p>総合評価79～70B（良）、69～60はC（可）とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	室内運動活動 子どもの運動あそび 実践	演習 全員で考えて運動あそびをする 理解確認 運動遊びを確認し フィードバックする	運動あそびの内容・ ルールが理解・習得で きる	企画した内容を確認し 実践できるようにして おく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	季節に合わせた制作活 動 制作の企画・立案・実 践する	演習 グループ討議 グループディスカッ ション 理解確認 制作活動についての意 見を聞きフィードバッ クする 「特別講師」	企画した制作について 内容が理解・習得でき る。	制作についてあらかじ め調べておく(予習・ 復習) 制作物をイメージして おく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	運動会の企画・立案① (保育園・幼稚園で行 われる運動会を想定し て考える) 実践	演習 グループで考えたことを 教える グループディスカッシ ョン 発表 理解確認 運動会の準備状況を評価 しフィードバックする	発育年齢に応じて、運 動会の種目を考えるこ とができる 積極的に取り組み、協 力することができる。	持久力をつけるために 適度に運動できる準備 をする(予習) 準備運動をしておく (復習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	運動会の企画・立案② (保育園・幼稚園で行 われる運動会を想定し て考える) 実践	演習 グループで考えたことを教 える グループディスカッシ ョン 発表 ビデオ撮影 理解確認 運動会の準備状況を評価し フィードバックする	発育年齢に応じて、運 動会の種目を考えるこ とができる 積極的に取り組み、協 力することができる。	発育年齢に応じて、運 動会の種目を考えてく る(予習) 積極的に取り組み、協 力する(復習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	岡崎げんき館参加の企 画・立案②	演習 理解確認 げんき館の企画につい て準備状況を評価し フィードバックする	岡崎げんき館の企画・ 立案と準備を積極的に できる	持久力をつけるため 適度に運動しておく (予習) 岡崎げんき館活動の器 具などの事前準備、確 認する(復習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	岡崎げんき館活動② 親子とのふれあい 実践	演習 理解確認 げんき館の企画・立案 について準備状況を評 価しフィードバックす る	こどもとの関わりで子 どもへの声かけや援助 などが積極的に行うこ とができる。	企画した内容を確認し ておく(復習) 企画した内容を実践で きるようにしておく (予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	岡崎げんき館活動の振 り返り 幼児学ゼミナール研究 報告抄録集作成開始	演習 理解確認 げんき館での実践を評 価しフィードバックす る	自分で意見を出し協力 できる。 グループ内での役割を 理解できる。	持久力をつけるため適 度に運動しておく(復 習) ゼミナール報告会に向 けての企画を考えてお く(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	幼児学ゼミナール研究 報告抄録集作成 ゼミナール報告会に向 けて企画・立案	演習 過去のDVDを参考にする パソコンを使用し子ど も向けのダンスや体操 を調べる 理解確認 抄録集の作成状況を評 価しフィードバックす る	抄録集作成、ゼミナ ール報告会への企画立案 と準備を積極的にでき る。	持久力をつけるため適 度に運動しておく(復 習) 事前に準備をしておく 個人研究を考えておく (予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	幼児学ゼミナール研究報告抄録集作成 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	演習 全員で考える 理解確認 抄録集の作成状況把握し評価しフィードバックする	抄録集作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる。 企画内容を理解できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(復習) 事前に準備をしておく 考えた個人研究をまとめておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	1年生への研究報告会 幼児学ゼミナール研究報告抄録集作成開始 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	演習 グループで分かれて考える グループディスカッション 発表 理解確認 ゼミナール報告会の準備状況を把握しフィードバックする	抄録集作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる。 企画内容を理解できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(復習) 準備運動をしておく柔軟体操をしておく(復習) 事前に準備する。曲や振付を考え、個人研究をまとめておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	幼児学ゼミナール研究報告抄録集作成 ゼミナール報告会の準備活動	演習 グループで分かれて考える グループディスカッション 発表 理解確認 ゼミナール報告会の準備状況を把握し評価しフィードバックする	抄録集作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる。 企画内容を理解できる。 自分の役割を理解できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(復習) 準備運動をしておく柔軟体操をしておく(復習) 事前に準備する。曲や振付を考え個人研究をまとめておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	幼児学ゼミナール研究報告抄録集作成 ゼミナール報告会の準備活動	演習 グループで分かれて考える グループディスカッション 発表 理解確認 ゼミナール報告会の準備状況を評価しフィードバックする	抄録集作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる。 企画内容を理解できる。 自分の役割を理解できる。	創作した動きなどを復習する(復習) 研究報告抄録集完成の確認をする(復習) 持久力をつけるため適度に運動しておく(予習) 準備運動をしておく柔軟体操をしておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	幼児学ゼミナール研究報告抄録集作成 ゼミナール報告会の準備活動	演習 グループで分かれて考える グループディスカッション 発表 グループディスカッション 全員で研究報告抄録集完成の確認をする 理解確認 ゼミナール報告会の準備状況を把握し評価しフィードバックする	抄録集作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる。 企画内容を理解できる。 自分の役割を理解できる。	創作した動きなどを復習する(復習) 研究報告抄録集完成の確認をする(復習) 持久力をつけるため適度に運動しておく(予習) 準備運動をしておく柔軟体操をしておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	幼児学ゼミナール報告会に向けてリハーサル	演習 全員 グループで分かれて考える プレゼンテーション ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響 理解確認 リハーサルに向けて総合的に評価しフィードバックする	これまでの創作が全て完成され、発表できる。	完成した動きなどを細かく確認する持久力をつけるため適度に運動しておく(復習) 準備運動をしておく柔軟体操をしておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	オンデマンド 幼児学ゼミナール報告会のまとめ	演習 オンデマンド 全員 幼児学ゼミナール報告会で披露する身体表現を視聴し自己評価する 理解確認 ゼミナール報告会の報告内容を総合的に評価しフィードバックする	これまでの創作が全て完成され、発表できる	適度に運動しておく(復習) 報告前の全体確認をする(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力



2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332C	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:伊藤智式) Seminar: Study of Methodology for Infantile EducationⅡ	伊藤智式		専門	1	必修	2後期

**科目の概要**

ゼミナールⅠの授業を発展的に展開していく。このゼミのテーマは「子どもの遊びを究める」である。実際に子どもの遊びを体験し遊びの楽しさを味わい、新しい遊びを創造すると共に、子どもたちに楽しさを伝える術を学ぶ。また、子どもの遊びや子どもに関する行事についての調査や研究を行う。ここで修得した知識技能を更に活用応用し課題解決の方策を探る。そして、子どもの遊びを究め、保育者としていつも子どもたちに楽しさを伝えられるピエロのような存在になってほしい。そして、これらの学びはディプロマポリシーの①③④⑤に相当する。

学修内容	到達目標
① 子どもの遊び等についての課題を実践する。 ② 個人の研究テーマを設定し、取り組む ③ 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表の準備と実践をする。 ④ 「岡崎げんき館」にて子どもたちと実践的に関わる。	① 実践課題について積極的に取り組み、体得することができる。(ディプロマポリシー③④⑤) ② 個人の研究について主体的に取り組み、成果を出すことができる。(ディプロマポリシー③④⑤) ③ 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、他者と協力し積極的に取り組むことができる。(ディプロマポリシー①③④⑤) ④ 「岡崎げんき館」にて子どもたちと積極的に関わることができる。(ディプロマポリシー①③④⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻・無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：特になし。 資料を随時配布する。  
 参考文献：特になし

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：すべての科目と関連する。  
 資格との関連：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加する。</li> <li>勇気を出して前に踏み出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員学生間でのTPOに応じた礼節を重んじる。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		0	①		
					②		
③							
④							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			90	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
	④			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

・実践課題の達成度(40)  
 ・げんき館での活動成果(10)  
 ・幼児学ゼミナール抄録集の取り組み(10)  
 ・ゼミ研究報告会までの総合的な取り組み(30)  
 修得した知識技能を応用活用して課題解決に導いていけたかを評価する。

(主体性)  
 ・自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。  
 (働きかけ力)  
 ・グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。  
 (実行力)  
 ・実践課題を習得できるように粘り強く取り組むことができる。  
 (課題発見力)  
 ・子ども遊びや安全管理についての問題点を認識できる。  
 (創造力)  
 ・与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。  
 (発音力)  
 ・グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。  
 (傾聴力)  
 ・他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。  
 (情報把握力)  
 ・周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。  
 (規律性)  
 ・遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。  
 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・ゼミの課題に対して積極的に取り組み、ゼミで学んだ研究成果や表現技能、指導法などを応用的に実践することができる。(A)</p> <p>・学習修得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。(S)</p>	<p>・ゼミの課題に対して取り組むことができる。(C)</p> <p>・個人やグループにおいて、研究成果や表現技能などを具体的に実践することができる。(B)</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	後期ゼミナールⅡ目的と内容について確認する。個人の研究テーマを確認する。	演習 パソコンを使い、クラスルームにて個々の学修内容を共有する。(以後の授業も同様である)	ゼミの活動を理解し、個人の目標を設定できる。	(予習) これまでの個人研究を休み期間中にまとめておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
2	幼児学ゼミナール報告会の企画を考える。	演習、グループ討議、	幼児学ゼミナール報告会の企画を理解し説明できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
3	子どもの遊び、石蹴り、お手玉などを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック パソコンを使い、撮影した実技動作を分析する。(以後の授業も同様である)	子どもの遊び、石蹴り、お手玉などの遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	子どもの遊び、ゴムとび、バンブーダンス、ボールあそびを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの遊び、ゴムとび、バンブーダンス、ボールあそびの遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	子どもの遊び、竹馬、缶ぼっくりなどを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの遊び、竹馬、缶ぼっくりなど遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	子どもに関する行事、おこしものづくりを体験し、幼児への指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	おこしものづくりと幼児への指導法を理解し説明できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	個人研究中間発表	演習、プレゼンテーション 発表についての相互評価にてフィードバック	子どもの遊びについての個人研究の中間発表ができる。	個人研究の中間発表を準備してくる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	岡崎げんき館での活動を企画・立案する。	演習、グループ討議 立案用紙の評価	積極的に参加し、岡崎げんき館での活動を企画・立案をできる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	30	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	岡崎げんき館での活動計画を再考し、リハーサルをする。	演習、グループ討議、実技・グループワーク実技についての相互評価にてフィードバック	岡崎げんき館での活動計画を理解し説明できる。自分の役割を認識し説明できる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	岡崎げんき館での実践予定をもとに役割分担に対して責任を持ち実践する。	実技・グループワーク実践評価にてフィードバック	自分の役割を理解し実践できる。	自分の役割を理解し実践できるように予習しておく。反省点を振り返る。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。	演習抄録についての相互評価にてフィードバック	幼児学ゼミナール抄録集の担当箇所を作成できる。	個人研究をまとめておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。	演習抄録についての相互評価にてフィードバック	幼児学ゼミナール抄録集を作成できる。	幼児学ゼミナール抄録集を校正する。	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う。	演習、グループ討議、実技・グループワーク実技についての相互評価にてフィードバック	幼児学ゼミナール報告会の準備ができる。	幼児学ゼミナール報告会のための資料・用具を準備する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う。	演習、グループ討議、実技・グループワーク実技についての相互評価にてフィードバック	幼児学ゼミナール報告会の準備ができる。	幼児学ゼミナール報告会のための資料・用具を準備する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	これまでの学修内容をまとめる。幼児学ゼミナール報告会の準備を行う。	オンデマンドにて授業を配信する。幼児学ゼミナール報告会の準備をする。	自分の役割を理解し実践できる。	(復習) 幼児学ゼミナール報告会の最終確認をする。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332D	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:福井千夏)	福井千夏		専門	1	必修	2年後期

**科目の概要**

「子どもと“楽しい”を共有できる先生」を目指し、小グループによるゼミナールを行なう。いろいろな教材をもとに保育内容に展開できるように、主体的に獲得した知識・技術を活用し適切に応用できる力を身に付ける。1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学修を統合し、保育の実践につなげていく。単位としてはⅠとⅡに分かれているが、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの研究活動である。幼児教育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を習得する。これらの内容はディプロマポリシー①～⑤に相当する。

学修内容	到達目標
① 各自が主体的に取り組み、研究・実践する ② 報告・発表ができるように素材収集を実施する ③ 子どもたちとの実践的な関わりを理解する ④ 実施内容の指導案の作成と評価反省について理解する ⑤ ボランティア活動を通し、保育者の活躍の場を体験する	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組むことができる。(D.P.①②③④) ② 研究成果を報告、発表のために素材を集めることができる。(D.P.①②③④) ③ 実践に積極的に取り組み、その体験を保育実践に活用することができる。(D.P.①③④⑤) ④ 保育内容の指導案を作成することで、保育技能を高めることができる。(D.P.①③④) ⑤ 保育者の活躍現場での保育を体験し、視野を広げることができる。(D.P.①⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	課題に必要な知識を教科書・文献を使って、自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標の到達に向けて、人の力を借りるための声掛けができる。
	実行力	期限内に作品を仕上げるための手順や方法を考え、目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づき客観的に情報を整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループで時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考え、期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントを整理し、発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を聴き、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	グループ討議では、自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：各ゼミナールにて提示される  
 参考文献：なし

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：すべての科目と関連する。  
 資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。	・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。
-----------------------------------	---------------------------

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
					④					
					⑤					
レポート			0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓						
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
			⑤	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓						
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
			⑤							
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準			到達レベルB(良)及びC(可)の基準		
各課題に対して積極的に取り組み、個人、グループにおいて、研究成果を具体化し、分かりやすく発表することができる。また、学修した知識や技能を保育実践の現場で積極的に活用することができる。			各課題に対して積極的に取り組み、個人、グループにおいて、研究成果を発表することができる。また、学修した知識や技能を保育実践の場で活用することができる。		
総合評価	90点以上 S (秀)	89～80点 A (優)	総合評価	79～70点 B (良)	69～60点 C (可)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナール活動の目的と内容について確認し、後期の実践活動に対して計画作成	演習 ゼミ全体で後期の実践活動の話し合いを進める。 本日の活動を振り返り発表する。発表の解説をしフィードバックする。	ゼミナール活動の目的と内容について確認し、後期の実践活動の計画立案に主体的に参加することができる。	(予習) 後期に向けての企画に積極的に参加できるように自分の考えをまとめておく。 (復習) 今後の計画に沿って見通しを持つ。	45	主体性 課題発見力 計画力 柔軟性 規律性
2	自然物を使った制作遊びを考える(どろだんご)	グループワーク 演習 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	素材に親しみ、素材の近いによって出来上がる作品に違いがでることがわかる	(予習) 光る泥だんごの作り方を調べ、積極的に参加できるようにする。 (復習) 保育実践への活かし方を考える。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
3	科学実験遊びを考える(スライムづくり)	グループワーク 演習 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	材料を適切に扱い、化学反応を利用した遊びを考えることができる	(予習) 科学実験遊びを取り入れた指導案を考える (復習) 指導案を改善し、保育実践に活かせるようにする。	45	主体性 実行力 計画力 創造力 柔軟性 規律性
4	科学実験遊びを考える(石鹸ケーキ)	グループワーク 演習 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	材料を適切に扱い、化学反応を利用した遊びを考えることができる	(予習) 科学実験遊びを取り入れた指導案を考える (復習) 指導案を改善し、保育実践に活かせるようにする。	45	主体性 実行力 計画力 創造力 状況把握力 規律性
5	岡崎げんき館活動の実践計画の立案	演習 計画・立案討議 本日の振り返りをレポートにまとめフィードバックする。	げんき館の企画立案と準備の立案に積極的に参加することができる。	(予習) 計画に対しての意見を持ち発表できるようにする (復習) 互いの企画を理解し自分の役割を自覚し練習をする。	45	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
6	岡崎げんき館活動 親子とのふれあい「お話でてこい」の実践練習	実践の練習 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	ゼミナール活動の目的と内容について確認し、後期の実践活動の立案に積極的に参加することができる。	(予習) 自分の役割を理解し、練習に臨むようにする。 (復習) 自分の役割を自覚し、実践の練習を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
7	岡崎げんき館活動 親子とのふれあい「お話でてこい」の実践活動 本日の活動の振り返り	実践演習 グループ討議 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	ゼミナール活動の目的と内容について確認し、後期の実践活動の立案に積極的に参加することができる。	(予習) 役割分担を理解し、進んで参加する。 (復習) 振り返り、自己評価を実践に活かす。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	遠足の内容を考える。 ※学外活動(動物園)	演習 動物園への遠足を想定し、実際に動物園に行つて施設の活用方法や安全面への配慮を考える。 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	子どもの興味関心に合わせてルートを選択し、園外保育での配慮すべき事項を考えられる。 自分の役割を意識する。	(予習) 動物園での予想される子どもの姿を考えておく (復習) 保育実践に役立つ企画を再確認する	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	遠足の内容を考える。 ※学外活動(水族館)	演習 水族館への遠足を想定し、実際に水族館に行き、施設の活用方法や安全面への配慮を考える。 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	子どもの興味関心に合わせてルートを選択し、園外保育での配慮すべき事項を考えられる。 自分の役割を意識する。	(予習) 役割分担を理解し、進んで参加できるようにしておく。 (復習) 実践の振り返り、自己評価を実践に活かす。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 柔軟性 状況把握力 規律性
10	子どもの身近な環境から保育内容を研究する。(秋の自然物を利用して)	グループワーク 秋の自然物を利用した遊びを検討する。 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	グループ討議に積極的に参加し、秋の自然物を使った遊びを知る。	(予習) 秋の自然物を使った遊びを調べておく。 (復習) 他者の意見を聞き、新しい遊びを考える。	45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
11	子どもの身近な環境から保育内容を研究する。(石鹼粘土を利用して)	実践演習 粘土を使った遊びを実践する。 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	粘土を使った遊びを実践し、活用できる。	(予習) 保育内容の指導計画を考えておく。 (復習) 振り返り、自己評価を実践に活かす。	45	主体性 課題発見力 創造力 発信力
12	幼児学ゼミナール研究報告抄録集 作成開始 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	役割分担を行い、役割を自覚する。 本日の振り返りをレポートにまとめる。	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備の立案に積極的に参加する。	(予習) 抄録作成に向け振り返り、報告会の立案をする。 (復習) 企画に対して自分なりの意見を持つ。	45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	幼児学ゼミナール研究報告抄録を完成、提出 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	役割分担を行い、自分の役割の検討をする。 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備に積極的に参加する	予習) 抄録作成に向けての準備。また、報告会の意見提案を考える。 (復習) 企画に対して自分なりの意見を持つ。	45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	ゼミナール報告会に向けてリハーサル	役割分担従い、自分の役割の実践演習 今までの振り返りについて話し合う。内容について解説しフィードバックする。	抄録を完成させ、発表できる	(予習) ゼミ発表会に向け自分の役割を確認する。 (復習) ゼミ発表に向け自分の役割を果たすための練習をする。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	ゼミナール報告会に参加する。 他ゼミナールの報告を視聴し、今後の保育活動につなげる。	演習 役割分担に従い実践する。 他のゼミ発表を視聴する。 本日の振り返りをレポートにまとめる。	これまでのゼミ活動の取り組みを全体に向け、伝えることができる。他の発表を見ることで今後の保育活動の参考とすることができる。	(予習) ゼミ報告会本番に向け自分の役割を再確認する。 (復習) ゼミ活動の振り返りを行い、実践に活かす。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力



2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332E	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:入口 愛) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	入口 愛		専門	1	必修	2後期

**科目の概要**

幼稚園教育要領及び保育所保育指針等を踏まえ、各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、地域親子との交流や、「岡崎げんき館」における模擬保育活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学び、抄録集や報告会に向けて研究活動をまとめる。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 子どもがことばに興味関心を持つような遊びや活動を考え、実践する。 ② ことばに関する知識を増やすとともに、ことばに対する感覚を磨く。 ③ 「岡崎げんき館」での模擬保育活動をとおして、乳幼児への接し方等の実践力を身につける。	① 子どもがことばに興味関心を持つような遊びや活動を考え、実践することができる。 ② ことばに関する知識を増やすことができる。 ③ 「岡崎げんき館」での模擬保育活動をとおして、乳幼児への接し方等を知り、実践することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	ゼミナール活動に対し、積極的に関わろうとする言動をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	決められた期限までに課題に取り組み、完成させることができる。
考え抜く力	課題発見力	ゼミ全体の活動の中で不足している力に気付き、課題の克服に向けて具体的な努力をしていくことができる。
	計画力	
	創造力	研究活動を抄録集としてまとめ、最終報告会の内容を創り上げることができる。
チームで働く力	発信力	授業において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。親子との交流において、積極的に語りかけることができる。
	傾聴力	他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：教員作成プリント

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：すべての開講科目  
資格との関連：保育士・幼稚園二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

幼児学ゼミナールは、保育者養成のすべての学びを総合的かつ実践的に活かしていく授業である。主体的、対話的な姿勢で臨むこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無遅刻・無欠席を厳守すること。</li> <li>・結果のみではなく、過程の意欲と努力を評価する。</li> <li>・ゼミ全体が前向きな雰囲気になる言動を心がけること。</li> </ul>
--	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			90	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

・報告会等に向けて積極的にグループワークに参加したかどうか、交流活動時の成果と同時に、交流までの取り組みの姿勢を重視した評価をする。  
 ①岡崎げんき館活動  
 ②抄録集作成  
 ③報告会発表

(主体性)  
 セミナール活動に対し、積極的に関わろうとする言動をすることができる。  
 (実行力)  
 決められた期限までに、課題を完成させることができる。  
 (課題発見力)  
 ゼミ全体の活動の中で不足している力に気づき、課題の克服に向けて具体的な努力をしていくことができる。  
 (創造力)  
 研究活動を抄録集としてまとめ、最終報告会の内容を創り上げることができる。  
 (発信力)  
 グループワークやゼミ全体の討議において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。  
 (傾聴力)  
 他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。  
 (規則性)  
 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行うことができる。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>レベルS(秀)の基準は、レポート、発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究が非常に優秀であること、さらに社会人基礎力との総合計が90%以上とする。</p> <p>レベルA(優)の基準は、レポート、発表をにおいて、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究が優秀であること、さらに社会人基礎力との総合計が80%以上、90%未満とする。</p>	<p>レベルB(良)は、レポート、発表、社会人基礎力レポート成果発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究にしっかりと取り組んでいること、さらに社会人基礎力との総合計が70%以上、80%未満であることとする。</p> <p>レベルC(可)の基準は、レポート、成果発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究に自分なりに取り組んでいること、さらに社会人基礎力との総合計が60%以上、70%未満とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	前期の活動を振り返り、後期の活動内容及び役割等について討議し、決定する。	演習 ディスカッション	後期の活動内容とスケジュールについて理解できる。自分の取り組みたい内容を発表し、主体的に関わる意識を持つことができる。	(予習)ゼミナールで挑戦したことを考えておく。 (復習)後期の活動で担当希望の役割を考えておく。	45	主体性 発信力 傾聴力
2	各自、ゼミ活動の中で取り組む内容を考える。後期の活動内容及び役割等について討議し、決定する。	演習 ディスカッション	全体ディスカッションに積極的に関わる努力をすることができる。	(予習)希望の役割を考えておく。 (復習)役割についてさらに検討し、工夫しておく。	45	主体性 発信力 傾聴力
3	抄録集作業① これまでの活動内容を、抄録集としてまとめる。全体構成を決定する。各自の担当箇所を決定する。	演習 ディスカッション	抄録集作成に向けて、積極的に関わる努力をすることができる。	(予習)抄録集に使用する資料を整理しておく。 (復習)担当箇所についての資料を整理する。	45	主体性 実行力 規律性
4	抄録集作業② これまでの活動内容を、抄録集としてまとめる。各担当箇所ページの資料編集作業をする。	演習 情報機器作業	抄録集の担当作業に、自分なりの工夫をし、創り上げることができる。	(予習)担当作業について、手順等を調べておく。 (復習)担当ページの編集作業を進める。	45	実行力 創造力
5	抄録集作業③ これまでの活動内容を、抄録集としてまとめる。全体編集作業をし、第一校を印刷する。	演習 ディスカッション	当日までの準備作業に積極的に取り組むことができる。	(予習)全体レイアウトのアイデア等を検討しておく。 (復習)第一校の校正をする。	45	実行力 課題発見力 創造力
6	幼児学ゼミナール報告会に向けての準備① 報告会の構成、内容、担当を検討し、決定する。	演習 ディスカッション	当日の役割を確認し、リハーサルに取り組むことができる。	(予習)ゼミナール報告会の内容案をまとめる。 (復習)報告会の内容、担当についてさらに検討する。	45	主体性 実行力 創造力
7	岡崎げんき館準備① 岡崎げんき館活動内容を決定する。当日の役割分担と準備、練習について検討する。	演習 練習	参加する子どもたちの発達過程を考慮した内容を考えることができる。	(予習)前期岡崎げんき館を振り返り、改善点等をまとめる。 (復習)自分の役割について確認する。	45	主体性 発信力 傾聴力
8	岡崎げんき館準備② 岡崎げんき館の練習をし、自分及び全体の課題を明らかにする。	演習 練習	岡崎げんき館の練習に、積極的に関わる努力をすることができる。	(予習)自分の役割に関する作業を進めておく。 (復習)課題について取り組んでおく。	45	実行力 創造力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	岡崎げんき館準備③ 岡崎げんき館活動練習 とリハーサルを通して、 創造力を身に付ける。	演習 練習	自分の役割を理解し、 岡崎げんき館活動に向 けて、練習での課題を 解決できるよう努力す ることができる。	(予習) 練習での課題 を練習しておく。 (復習) リハーサルで うまくいかなかった点 を練習しておく。	45	実行力 創造力 発信力
10	岡崎げんき館活動 第1回岡崎げんき館活 動を実施する。 11/26	演習 発表	ゼミメンバーと協力し て、活動することがで きる。	(予習) 岡崎げんき館 活動の流れ等を確認 し、様々な場合を想定 し、言葉かけの内容等 も考えておく。 (復習) 振り返りシー トに記入し、自分の課 題を見出す。	45	創造力 発信力 傾聴力
11	幼児学ゼミナール報告 会に向けての準備② 岡崎げんき館活動をふ り返し、まとめる。 報告会の構成、内容を 決定し、作業に取り掛 かる。	演習	乳幼児への語りかけ 方、接し方、保護者の 方への語りかけ方等に ついて、自分振り返り と同時に、他者の意見 を通して、理解するこ とができる。	(予習) 岡崎げんき館 振り返りシートを完成 させる。 (復習) 報告会の内容 を確認しておく	45	主体性 課題発 見力 状況把 握力
12	幼児学ゼミナール報告 会に向けての準備③ 各担当箇所について、 練習する。	演習	自分の担当箇所につい て、自分なりの工夫を しながら創り上げてい くことができる。	(予習) 子どもたちの 発達過程の適した遊び を考えておく。 (復習) 発表に活動に 必要な製作物の準備を する。	45	主体性 実行力 創造力
13	幼児学ゼミナール報告 会に向けての準備④ 各担当箇所についての 発表、意見交換を通し て、より良い発表内容 を検討する。	演習	責任を持って、担当箇 所の発表ができる。 他学生からの助言を謙 虚な姿勢で受け止める ことができる。	(予習) 自分の役割担当 や言葉について暗記 し、練習しておく。 (復習) うまくできな かった点について、各 自練習する。	45	主体性 実行力 創造力
14	幼児学ゼミナール報告 会の練習及びリハーサ ル	演習	他学生との協力をしな がら、全体の進行がス ムースにいくように配 慮することができる。	(予習) リハーサルで うまくいかなかった点 を練習しておく。 (復習) 岡崎げんき館 振り返りシートに記入 する。	45	主体性 課題発 見力 発信力 傾聴力
15	幼児学ゼミナール報告 会で成果発表をする。	演習 発表 ふり返り	1年間のゼミ活動の成 果発表として、報告会 での役割を果たすこ とができる。	(予習) 報告会の練習に 各自取り組む。 (復習) 保育現場に向 けて、さらなる課題を見 出す。	45	主体性 実行力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332F	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ：谷村和秀) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	谷村和秀		専門	1	必修	2年後期
<b>科目の概要</b>							
<p>①岡崎げんき館の活動では、親子に楽しんでもらえる遊びを考え、実施し、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。                  ②障がいのある子どもを理解した上で、楽しんでもらえる遊びを考え、実践し、課題を発見し、今後に生かす。                  ③幼児学ゼミナール抄録集の制作や幼児学ゼミナール報告会での報告を通して、インクルーシブ保育・教育について深める                  ※これらの内容はディプロマ・ポリシーの①～⑤に相当する。</p>							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
<p>① 乳幼児とその保護者が楽しめる遊びの展開方法を深める                  ② 障がいのある子どもを理解したい上で、楽しめる遊びを計画し、実施し、評価する。                  ③ 幼児学ゼミナール抄録集を作成や幼児学ゼミナール報告会での口頭発表を行う。</p>				<p>① 幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスを理解した上で実施できる。(D.P.②③④⑤)                  ② 障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスがを理解した上で実施できる。(D.P.②③④⑤)                  ③ インクルーシブ保育・教育の考えを深め、実践することができる(D.P.①～⑤)</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動はせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：特になし 参考文献：保育所保育指針・幼稚園教育要領							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：すべての開講科目 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
幼児学ゼミナールは学生が主体的に活動を行う科目です。だから、与えられた課題は決められた日に提示できるようにすること。				① 無断欠席や遅刻をしない学生 ② 積極的にゼミ活動に参加できる学生 ③ 自己選択・自己責任ができる学生			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
			②			
			③			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
	レポート	50	①	✓		① 岡崎げんき館の活動を通して、学んだこと考えたことをまとめる ② 「ヤングアスリートプログラム」の活動を通して、学んだこと・考えてことをまとめる。
			②	✓		
③			✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	岡崎げんき館活動やヤングアスリートプログラムなど1年間のゼミナール活動を抄録集や幼児学ゼミナール報告会でまとめる		
		②	✓			
		③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 （実行力） 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 （課題発見力） 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 （創造力） 物事を考える時に、固定概念に捉われないことなくいろいろな方向から考えることができたか。 （発信力） ゼミメンバー及び利用者（親子・障がいのある子ども）に伝わるように表現できる。 （傾聴力） 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 （規則性） 遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動はせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスが理解した上で展開できる。 ②障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスが理解した上で展開できる ③インクルーティブ保育・教育を考え、深めることができる ④総合評価が90点以上はS（秀）、89～80点はA（優）とする。	①幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスが理解できる。 ②障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスが理解できる ③インクルーティブ保育・教育を考えることができる ④総合評価が79～70点はB（良）、69～60点はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	岡崎げんき館活動の準備 ①岡崎げんき館活動に参加する子どもとその保護者の対象を学ぶ ②乳幼児の遊びについて調べる	演習	①岡崎げんき館活動に参加する親子について理解できる ②乳幼児の遊びが理解できる。	(予習) 岡崎げんき館活動について、抄録集を読むこと (復習) 乳幼児の遊びを調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
2	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、決める。 ②決めた遊びの指導案を考える	演習	①ゼミメンバー間で意見交換ができる。 ②親子を対象とした遊びの指導が考えることができる。	(予習) 前回の演習で調べた遊びを確認する (復習) 演習で作成した指導案を確認する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
3	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で作成した指導案に基づいて、制作やリハーサルを行う。	演習	①岡崎げんき館活動で行う内容が理解できる	(予習) 前回の演習で作成した指導案に基づいて、準備物を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動で行うことを確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	岡崎げんき館活動 ①子どもやその親に対して、考えた遊びを展開する	演習	①親子に対して考えた遊びが展開できる	(予習) 立案した岡崎げんき館活動の指導案を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動について、評価を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	岡崎げんき館活動を振り返る(レポート作成)	演習 岡崎げんき館のフィードバックを行う	①親子に対して考えた遊びを評価することができる	(予習) 岡崎げんき館活動の振り返りを行う (復習) 親子に対しての遊びを確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
6	ヤングアスリートプログラムでのゼミ活動の準備① ヤングアスリートプログラムについて学ぶ	演習	①ヤングアスリートプログラムについて理解する	(予習) 子どもの特性を調べる。 (復習) 障がいのある子どもに対しての遊びを調べる	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	ヤングアスリートプログラムでのゼミ活動の準備② ヤングアスリートプログラムの企画立案を行う。	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で調べたものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
8	ヤングアスリートプログラムでのゼミ活動① 立案した遊びを障がいのある子どもに展開を行う	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの展開方法が理解できる	(予習) ①ヤングアスリートプログラムの役割を理解する。 ②立案した遊びを確認する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ヤングアスリートプログラムでのゼミ活動②職員が考えたプログラムに参加する。		障がいのある子どもに関わる視点が理解できる。	(復習) ①ヤングアスリートプログラムでの活動を振り返る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	ヤングアスリートプログラムでのゼミ活動の振り返りを行う(レポート作成)	演習 ヤングアスリートプログラムのフィードバック	障がいのある子どもに対しての遊びのプロセスが理解できる	(予習) ①ヤングアスリートプログラムでの活動を振り返る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。	演習	抄録集の作業工程が理解できる。	(復習) それぞれの活動の振り返りを用意しておくこと。 (復習) 幼児学ゼミナール抄録集を作成する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	①幼児学ゼミナール抄録集を見直す。 ②幼児学ゼミナール報告会について説明を行う。	演習	①抄録集の担当箇所が誰にも読みやすいものになっている。 ②幼児学ゼミナール報告会に向けての作業工程がわかる。	(予習) 幼児学ゼミナール抄録集を作成する (復習) 幼児学ゼミナール抄録集を作成する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	①幼児学ゼミナール抄録集を完成する ②幼児学ゼミナール報告会の準備を行う	演習	①幼児学ゼミナール抄録集を完成できる ②幼児学ゼミナール報告会で与えられた役割を理解する	(予習) 幼児学ゼミナール抄録集を確認する (復習) 幼児学ゼミナール報告会の役割を確認する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
14	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う	演習	v①幼児学ゼミナール報告会で口頭発表ができる状況になる	(予習) 幼児学ゼミナール報告会の原稿を作成する。 (復習) 幼児学ゼミナール報告会で読む、原稿を確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	幼児学ゼミナール報告会で口頭発表等を行う。	演習	1年間、ゼミナールで行なったことを伝えることができる。	(予習) 幼児学ゼミナール報告会で読む、原稿を確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力



2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332G	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:津島忍) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	津島忍		専門	1	必修	2後期

**科目の概要**

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる。また、岡崎げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。この科目はディプロマポリシー①～⑥に相当する内容を身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① 連弾の学修に取り組んでいく中で、より高度な技能、表現力を学び、企画、準備、運営の方法を体験し、保育現場で実践できるように理解する。 ② 岡崎げんき館では「楽器で遊ぼう」をテーマに、楽器を使い親子で楽しむ音楽遊びの実践を行い、保育現場での実践が出来るようになることを目的とする。	① 報告会での発表に向かって準備することで、より高度な技能、表現力を身に付け、企画、準備、運営などの保育現場での行事運営の基礎を習得できる。(DP①～⑤) ② 岡崎げんき館での楽器遊びの実践を通して、保育現場で実践できる本格的知識や技能を習得できる。(DP①～⑤)

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題に取り組むために必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	期限までに作品を仕上げるための手順や方法を考えて、確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：必要に応じて資料を配布する。演奏曲の演奏動画配信および紹介(PC・スマホにて視聴)  
 参考文献：必要に応じて資料を配布する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：幼児表現(音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)、子どもの音楽表現、保育内容(表現)  
 資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士資格

**学修上の助言**      **受講生とのルール**

連弾の練習の前に個人での予習(練習)が必要である。また連弾の練習においても、時間外での予習・復習(練習)が必ず必要である。積極的な意見の交換が必要である。	2人一組での練習が欠かせないので、最低限守るべきルール・マナー・約束を理解し、相手に迷惑をかけない。げんき館での活動は集団でのチームワークを意識する。
---	---

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
学修成果	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
学修成果	平常評価	レポート	0	①		
				②		
学修成果	平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	
				②	✓	
学修行動	平常評価	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
				②	✓	
総合評価割合			100			

・15週目の授業において、ゼミ内で発表し、ゼミ報告会において学外へ発表する。表現力、技術力、準備段階の活動状況を【到達目標の基準】に基づいて評価する。（70点）  
 ・岡崎げんき館での活動内容の準備及び本番での活動状況を【到達目標の基準】に基づいて評価する。（20点）

（主体性）（実行力）（課題発見力）  
 ・苦手な部分の克服や技術の習得のために自ら練習をすることができる。  
 （創造力）（発信力）  
 ・発表・演奏において、学んだことを更に工夫し発表することができる。  
 （傾聴力）  
 ・相手と、良くコミュニケーションを取り、迷惑をかけない。グループ活動へ積極的に関わる。  
 （規律性）  
 ・遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。  
 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・音楽劇の核となる連弾曲をA（優）は情感豊かに表現し、演奏技術の上達、獲得が顕著で、安定した演奏ができる。また、準備段階において積極的に活動できる。</p> <p>S（秀）は演奏技術、表現に特に優れ 常に安定した演奏ができる。また、準備段階において積極的にリーダーシップをとり自分の役割をはたして活動できる。</p> <p>・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢が特に顕著である。（S、A）</p>	<p>・連弾曲をB（良）は間違えることなく最後まで演奏し、演奏技術の上達、獲得がみられ、準備段階で協力的である。C（可）は演奏する曲を二人で最後まで演奏することができる。</p> <p>・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢がある。（B、C）</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の進め方(連弾を核とした発表方法について)(PC上で実施) 連弾曲の選曲と企画内容の検討	講義・演習	連弾曲の選曲、企画会議に参加し、指導を理解し実行できる。	(予習) アイデアを出す (復習) 企画会議での問題点の検討	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	連弾曲の選曲と企画内容の検討(PC上で実施) 連弾曲の個人練習と指導(撮影した動画をPC上で確認)	演習(企画会議、個人練習および個人指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲の選曲、企画会議に参加し、指導を理解し実行できる。 曲を個人練習し、指導を理解し実行できる。	(予習) 企画会議での意見出しの準備 (復習) 企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	幼児学ゼミナール報告会中間発表準備(PC上で実施) 連弾曲の選曲と企画内容の検討(PC上で実施) 連弾曲の個人練習と指導(撮影した動画をPC上で確認)	演習(企画会議、個人練習および個人指導) 幼児学ゼミナール報告会中間発表準備 フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲の選曲、幼児学ゼミナール報告会中間発表準備・企画会議に参加し、指導を理解し実行できる。 曲を個人練習し、指導を理解し実行できる。	(予習) 幼児学ゼミナール報告会 中間発表会議での意見出しの準備 (復習) 幼児学ゼミナール報告会 中間発表内容の整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	幼児学ゼミナール報告会 中間発表準備(PC上で実施)	演習(幼児学ゼミナール報告会 中間発表準備)	幼児学ゼミナール報告会中間発表準備に参加し、指導を理解し、発表に向けて内容をまとめて共有することができる。	(予習) 幼児学ゼミナール報告会 中間発表会議での意見出しの準備 (復習) 幼児学ゼミナール報告会 中間発表内容の整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	幼児学ゼミナール報告会 中間発表(PC上で実施)	演習(幼児学ゼミナール報告会 中間発表)	幼児学ゼミナール報告会 中間発表に向けて準備した内容を発表する。	(予習) 幼児学ゼミナール報告会 中間発表内容の確認 (復習) 幼児学ゼミナール報告会 中間発表内容の反省点の洗い出し	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	幼児学ゼミナール報告会 中間発表の振り返り(PC上で実施) 連弾曲の練習と企画内容の検討、制作(PC上で実施) 連弾曲のペアでの練習と指導(撮影した動画をPC上で確認)	演習(企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	(予習) 幼児学ゼミナール報告会 中間発表内容の問題点の洗い出し (復習) 企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	連弾曲の練習と企画内容の検討、制作(PC上で実施) 連弾曲のペアでの練習と指導(撮影した動画をPC上で確認)	演習(企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	(予習) 企画会議での意見出しの準備 (復習) 企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	連弾曲の練習と企画内容の検討、制作(PC上で実施) 連弾曲のペアでの練習と指導(撮影した動画をPC上で確認)	演習(企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	(予習) 企画会議での意見出しの準備 (復習) 企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	連弾曲の練習と企画内容の検討、制作(PC上で実施) 連弾曲のペアでの練習と指導(撮影した動画をPC上で確認)	演習(企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	(予習) 企画会議での意見出しの準備 (復習) 企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動に向けての内容・企画の検討と指導案の作成(PC上で実施) 連弾曲のペアでの練習と指導(撮影した動画をPC上で確認)	演習(ペアでの練習およびペアでの指導、全員参加の企画会議) フィードバックはレッスン内で行う。	企画会議に積極的に参加し、協力して計画を立案検討できる。 連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習) 岡崎げんき館の企画会議での意見出しの準備 (復習) 岡崎げんき館の企画内容の整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動に向けての内容・企画の検討と指導案に基づいた模擬実習の実施と改善(PC上で実施)	演習(全員参加の企画会議および模擬実習の実施と改善方法の検討) フィードバックはレッスン内で行う。	企画案に基づき、模擬実習を実施し、改善案を提案できる。	(予習) 岡崎げんき館の企画会議での意見出しの準備 (復習) 岡崎げんき館の企画内容の整理(PC上で実施)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動	演習(全員参加の岡崎げんき館での実践発表)	準備した内容を実施できる。	(予習) 岡崎げんき館の企画内容の確認 (復習) 岡崎げんき館の企画内容の反省点の洗い出し	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動の振り返り(PC上で実施) 連弾曲の練習と企画内容の検討、制作(PC上で実施) 連弾曲のペアでの練習と指導(撮影した動画をPC上で確認)	演習(反省会、企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	反省会に参加し、連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	(予習) 岡崎げんき館の企画内容の問題点の洗い出し (復習) 企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	連弾曲の練習と企画内容の検討、制作(PC上で実施) 連弾曲のペアでの練習と指導(撮影した動画をPC上で確認)	演習(企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。 次週の通し稽古に向けて準備する。	(予習) 連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習) ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	幼児学ゼミナール報告会に向けて細部の演奏の確認(PC上で実施)	オンデマンド 演奏上の問題について確認し、撮影する。指導内容についてフィードバックのレッスンを 行う。	幼児学ゼミナール報告会の演奏曲の細かな課題を発見し、指導に基づいて修正することができる。	(予習) 連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習) ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332H	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:服部壮一郎) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education II	服部壮一郎(クラス分け)		専門	1	必修	2年後期

**科目の概要**

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、保育・幼児教育の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる(ディプロマ・ポリシー②③④)。また、岡崎げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う(ディプロマ・ポリシー①③⑤)。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う(ディプロマ・ポリシー①②④)。

学修内容	到達目標
① 各自が決定した研究課題に取り組み、絵本や物語についての理解を深める。 ② 第1回目の岡崎げんき館での活動の反省を踏まえて「おはなし会」を開催する。 ③ 「幼児学ゼミナール抄録集」と「幼児教育学科研究報告会」において研究成果を発表する。	① さまざまな絵本や物語の世界に触れ、その魅力やおもしろさを伝えることができる。(ディプロマ・ポリシー②③④) ② 第1回目の岡崎げんき館での活動の反省を踏まえて「おはなし会」を開催することができる。(ディプロマ・ポリシー①③⑤) ③ 抄録集と報告会を通して自分たちの実践や研究を発表することができる。(ディプロマ・ポリシー①②④)

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	自分ひとりではできないときに人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：なし  
 参考文献：代田知子『読み聞かせわくわくハンドブック～家庭から学校まで～』一声社、2001年。1200円。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：すべての科目と関連する。  
 資格との関連：保育士、准学校心理士

学修上の助言	受講生とのルール
積極的な参加態度や意欲的活動が望まれる。	学生相互の協力関係が大切である。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	小テスト		0	①				
				②				
				③				
	レポート		0	①				
				②				
③								
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			自分の研究課題を達成するために必要な知識や情報を積極的に獲得している。 岡崎げんき館でのおはなし会の開催に向けて、過去の経験を踏まえて課題を設定し、それを達成することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			<small>（主体性）</small> 課題に取り組むにあたって、必要な知識を文献を使って自己学修をすることができたか。 <small>（実行力）</small> 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 <small>（課題発見力）</small> 思い込みや臆測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 <small>（創造力）</small> 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 <small>（発信力）</small> 予習や講義で身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 <small>（傾聴力）</small> 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 <small>（規律性）</small> 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>自分の研究課題に主体的に取り組むことができ、研究成果を報告・発表することができる。 おはなし会の開催に向けて協力的に活動し、当日参加した親子に物語の世界を伝えることができる。年齢に応じた絵本、テーマに合った絵本の選定、絵本に関心を集める導入、適切な語りなどができる。 総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。</p>	<p>ゼミナールでの活動を報告・発表することができる。 おはなし会の準備に参加し、おはなし会を開催することができる。おはなし会のプログラムを作成し、当日に無断欠席をしない。 総合評価79～70はB（良）、69～60はC（可）とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 後期の活動予定を計画する。 ゼミ中間報告会の準備をする。	演習 前期の取り組みについてフィードバックする。	前期の活動を振り返ることができる。	(予習) 前期にあげた課題を振り返っておく。 (復習) 後期の活動内容を確認する。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	おはなし会の企画	演習 グループワーク PC等を利用して絵本や手遊び歌などを検索する。 おはなし会の企画内容についてフィードバックする。	グループワークに参加し、意見を述べることができる。	(予習) おはなし会のテーマを考えておく。 (復習) 自分が担当する役割について準備する。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	おはなし会の準備	演習 グループワーク PC等を利用して絵本や手遊び歌などを検索する。 おはなし会の構成についてフィードバックする。	おはなし会の準備を進めることができる。	(予習) 絵本の読み聞かせの練習をする。 (復習) 手遊び歌等の練習や準備をする。	45	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
4	おはなし会のリハーサル	演習 グループワーク PC等を利用して絵本や手遊び歌などを検索する。 おはなし会のリハーサルについてフィードバックする。	おはなし会のリハーサルを実施することができる。	(予習) 絵本の読み聞かせやそれ以外の活動の準備をする。 (復習) 当日までにおはなし会の練習を重ねる。	45	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
5	おはなし会の実践	演習 グループワーク おはなし会についてフィードバックする。	おはなし会を開催することができる。	(予習) おはなし会の流れを確認する。 (復習) おはなし会を振り返り、レポートにまとめる。	45	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
6	ゼミ中間報告会	演習 グループ発表	これまでのゼミナール活動での取り組みを発表することができる。	(予習) 発表の準備をする。 (復習) すべての発表を見た感想をまとめる。	45	課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	「みんないっしょのクリスマス会」の準備	演習 グループワーク PC等を利用し、絵本や手遊び歌などを検索する。 準備状況を評価し、フィードバックする。	協力して準備を進めることができる。	(予習) 企画内容の確認 (復習) 準備物の制作	45	課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	「みんないっしょのクリスマス会」の準備	演習 グループワーク PC等を利用し、絵本や手遊び歌などを検索する。 準備状況を評価し、フィードバックする。	協力して準備を進めることができる。	(予習) 企画内容の確認 (復習) 準備物の制作	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「みんな一緒のクリスマス会」の開催	演習 グループワーク 当日の実施状況进行评估し、フィードバックする。	活動計画をもとに自分の役割を遂行できる。	(予習) 当日の流れの確認。 (復習) 振り返りレポートの作成。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「学びの泉」グランプリの視聴	演習 発表内容についてフィードバックする。	すべての発表を視聴し、感想を述べることができる。	(予習) 発表内容の確認。 (復習) 視聴した感想をまとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	幼児学ゼミナール抄録集の作成	演習 演習 グループワーク PC等を利用し、研究テーマについて調べ学習をする。 研究テーマについてフィードバックする。	自分たちの研究テーマを決定することができる。	(予習) 自分たちが何を研究したいか考えておく。 (復習) 研究テーマについて調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	幼児学ゼミナール報告会の準備	演習 グループワーク PCを使ってスライドを作成する。	これまでのゼミ活動で学んできたことをまとめることができる。	(予習) 報告会で何を発表したいか考えておく。 (復習) それぞれの担当する役割について確認する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	幼児学ゼミナール報告会の準備	演習 グループワーク PCを使ってスライドを作成する。	報告会での発表準備に取り組むことができる。	(予習) 事前に発表内容を確認しておく。 (復習) 当日までに準備が完了するように作業を進める。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	幼児学ゼミナール報告会のリハーサル	演習 グループワーク	ゼミナール報告会のリハーサルを完了することができる。	(予習) 報告会の流れを確認する。 (復習) 報告会当日に向けて練習を重ねる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	後期のまとめ 幼児学ゼミナール抄録集の作成	演習・オンデマンド 幼児学ゼミナール抄録集についてフィードバックする。	おはなし会の概要を説明することができる。	予習：幼児学ゼミナール抄録集を作成する。 復習：抄録集に誤りがないか確認する。	45	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力



2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332I	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:本多峰和) Seminar: Study of Methodology For Infantile Education Ⅱ	本多峰和		専門	1	必修	2年後期

科目の概要

多様な音楽表現における視野をさらに広げ、子どもたちにおける音楽表現を研究する。げんき館では、研究成果を発揮し親子で楽しく歌ったり、踊ったりすることを活動目標とする。子どもたちにおける音楽表現の研究成果および「げんき館」での活動報告を幼児学ゼミナール報告会で発表する。1年の成果を「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」にまとめる。学びの過程で課題を発見し、習得した知識や技術を活用し、自分なりに課題解決できる力を身につける (D.P. ①③⑤)

学修内容	到達目標
① 子どもの音楽表現の技術について認識する。 ② 実践を通し、どのような音楽表現が子どもにとって楽しいかを考察する。 ③ 岡崎げんき館に向けて指導案を作成する。 ④ 幼児学ゼミナール報告会に向けての発表内容を考える。 ⑤ 幼児学ゼミナール研究報告抄録集を作成する。	① 子どもの音楽表現の技術について考えることができる。(D.P. ③) ② 実践を通し、どのような音楽表現が子どもにとって楽しいかを考えることができる。(D.P. ③) ③ 岡崎げんき館に向けて指導案を考えることができる。(D.P. ③) ④ 幼児学ゼミナール報告会においてわかりやすく発表することができる。(D.P. ③) ⑤ 幼児学ゼミナール研究報告抄録集を期日までにまとめて作成することができる。(D.P. ②③)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、文献を使って自己学習をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	実践を行うための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

参考文献: 「子どものあそびとうた」小泉文夫著、「童謡はどこへ消えた」服部公一著、「唱歌・童謡ものがたり」読売新聞文化部、「唱歌・童謡の世界」金田一春彦著、「唱歌・童謡100の真実」竹内貴久雄著、「童謡の風景1・2・3」合田道人文 村上保絵、「わらべうたが子どもを救う」大島清・大熊進子・若井正浩著、「オペラでわかるヨーロッパ史」加藤浩子著、「オペラへの招待」ジョン・ルイス・デイガニエターニ著、「オペラ史 上」D・J・グラウト著、「オペラのすべて」アレクサンドロ・タヴェルナ著、「知識ゼロからの ミュージカル入門」塩田明弘著、「ミュージカルおもしろ雑学事典」石原隆司著、「ブロードウェイ・ミュージカル」井上一馬著、「ミュージカル史」小山内伸著、「バレエの世界へようこそ: あこがれのバレエ・ガイド」リサ・マイルズ著、「ビジュアル版バレエ・ヒストリー バレエ誕生からバレエ・リュスまで」芳賀直子著、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著、「保育内容 音楽表現」大畑祥子編著、「幼児の音楽教育」音楽教育研究協会編、「世界のあそび歌35/40」後藤田純生著、「なぜ、いま学校で「表現教育」なのか?」芸田協出版部、「幼児期」岡本夏木著、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 幼児表現(音楽Ⅰ)(音楽Ⅱ)(音楽Ⅲ)、子どもの音楽表現  
資格との関連: 保育士資格、准学校心理士

学修上の助言	受講生とのルール
積極的な参加および活動。	欠席をしない。学生相互の協力関係。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
					④					
					⑤					
		レポート		15	①	✓				
					②	✓				
					③	✓				
					④	✓				
					⑤	✓				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		75	①	✓				
					②	✓				
					③	✓				
					④	✓				
					⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓					
				②	✓					
				③	✓					
				④	✓					
				⑤	✓					
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) の基準                      協調性を持ち、積極的に真面目な取り組みができており、研究課題に対して深く理解をしている。</p> <p>A (優) の基準                      協調性を持ち、積極的に真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。</p>	<p>B (良) の基準                      協調性を持ち、真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。</p> <p>C (可) の基準                      協調性を持ち、研究課題に対して理解をしている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「岡崎げんき館」での反省・振り返り	グループワーク フィードバック(討議内容を評価する)	ゼミ生全員の「岡崎げんき館」での反省・振り返りをもとに、各自レポートを書く。自分ひとりではなく、全員の反省・振り返りを知ること、さらに「げんき館」での活動の在り方を考えることができる。	(予習) 岡崎げんき館の反省・振り返りの確認。 (復習) レポートに記述したことをもう一度熟読する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
2	幼稚園の音楽発表会(DVD)を鑑賞し、子どもたちにおける音楽表現を考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック(討議内容を評価する)	幼稚園の音楽発表会(DVD)を鑑賞し、子どもたちにおける音楽表現を考えることができる。	(予習) 音楽に関するYouTubeなどの動画を鑑賞する。 (復習) DVD鑑賞で印象に残ったことをノートに書き留める。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
3	ゴスペルにおける音楽表現から、保育に活かせる音楽表現について考える。	映画鑑賞 グループワーク フィードバック(討議内容を評価する)	ゴスペルにおける音楽表現から、保育に活かせる音楽表現について考えることができる。	(予習) ゴスペルに興味を持つ。 (復習) 声における音楽表現についてさらに理解を深める。	90	主体性 働きかけ力 発信力 柔軟性 規律性
4	ボディパーカッションから、保育に活かせる音楽表現について考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック(討議内容を評価する)	ボディパーカッションから、保育に活かせる音楽表現について考えることができる。	(予習) ボディパーカッションに興味を持つ。 (復習) 体から奏でられる音についてさらに理解を深める。	90	主体性 働きかけ力 発信力 柔軟性 規律性
5	子どもの成長発達と音楽性について考える。	講義 演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	子どもの成長発達と音楽性について考えることができる。	(予習) 子どもの発達について理解しておく。 (復習) 参考資料を読み理解を深める。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
6	子どもの音楽表現の技術について考える。	講義 演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	子どもの音楽表現の技術について理解し、指導法を自分なりに考えることができる。	(予習) 音楽表現について考えておく。 (復習) 参考資料を読み理解を深め自身の音楽表現を振り返る。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
7	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	子どもが楽しめる音楽表現を考え、活動内容を討議できる。	(予習) 0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた・唱歌・童謡を考えておく。 (復習) 0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた・唱歌・童謡のおさらい。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	子どもと保護者が楽しめる音楽表現を考え、活動内容を討議できる。	(予習) 保護者と子どもについて考えておく。 (復習) 保護者で行う音楽表現について理解を深める。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「岡崎げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業ができる。質のよい手作り楽器を目指す。	(予習) 手作り楽器について調べておく。 (復習) 手作り楽器の補修など安全面に配慮する。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	「岡崎げんき館」での活動 および振り返り	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	子どもおよび、子どもと保護者が楽しめる音楽表現を笑顔で活動できる。行った活動に対しての振り返りから各自が様々なことを学ぶ。	(予習) 岡崎げんき館で行う活動内容の把握。 (復習) 岡崎げんき館での活動の反省と振り返りをする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動 「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」の作成	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する) PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 調べ学習、岡崎げんき館での活動をパワーポイントにまとめる。 研究抄録集の編集作業。	(予習) 抄録集の原稿、写真をまとめる。 (復習) ゼミナール報告会のパワーポイントの見直し。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動 「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」の作成	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する) PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 調べ学習、岡崎げんき館での活動をパワーポイントにまとめる。 研究抄録集の編集作業。	(予習) 抄録集の原稿、写真をまとめる。 (復習) ゼミナール報告会のパワーポイントの見直し。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動 「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」の作成	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する) PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 子どもにおける音楽表現、調べ学習、岡崎げんき館での活動をパワーポイントにまとめる。 研究抄録集の編集作業。	(予習) 抄録集の原稿、写真をまとめる。 (復習) ゼミナール報告会のパワーポイント、実践の見直し。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動 「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」の作成	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する) PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 子どもにおける音楽表現、調べ学習、岡崎げんき館での活動をパワーポイントにまとめる。 研究抄録集の編集作業を終了する。	(予習) ゼミナール報告会の内容把握。 (復習) ゼミナール報告会に向けての最終確認。抄録集の最終確認。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	岡崎げんき館での活動の振り返り	オンデマンド 岡崎げんき館での活動をビデオで振り返り、レポート提出。	岡崎げんき館での活動を振り返りまとめる。音楽表現について考えをまとめる。	(予習) 岡崎げんき館での自身の活動を振り返っておく。 (復習) 音楽表現についてさらに探求する。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332J	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:山本辰徳) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	山本辰典		専門	1	必修	2後期

**科目の概要**

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、色々な課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実戦につなげていく。幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる。また、げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。本授業は、ディプロマポリシーの①～⑤全てに相当し、これらを身につけるために行う。

学修内容	到達目標
① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができるようにする。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。 ③ 活動報告を文章化し、報告することができるようにする。	① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができる。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。 ③ 活動報告を文章化し、報告することができる。 ④ ディプロマ・ポリシーの①～⑤全てに相当する。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自ら進んで学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	提出物の期限を守ることができる。
考え抜く力	課題発見力	指導案、レポートを作成する上で、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	指導案、レポートを作成する上で、創造力を発揮することができる。
チームで働く力	発信力	指導内容を熟知した上で、指導ができる。ものづくり計画を立案し、発信することができる。
	傾聴力	計画者の案を理解し、グループ活動することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：なし  
参考文献：なし

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：幼児表現(造形Ⅰ)、幼児表現(造形Ⅱ)、保育内容(表現)、子どもの造形  
資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許・(准)学校心理士

**学修上の助言**      **受講生とのルール**

テキスト：なし 参考文献：なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての提出物を出さないと及第しない。</li> <li>提出期限に遅れた場合は減点する。</li> <li>授業態度が悪い場合は減点することがある。</li> </ul>
--------------------	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
平常評価	レポート	0	①					
			②					
			③					
			④					
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり計画をしっかりと立案できたか。</li> <li>段取りがしっかりできたか。</li> <li>制作を完遂できたか。</li> <li>活動報告を小論にすることができたか。</li> <li>パワーポイントで資料を作成することができたか。</li> </ul>	
			②	✓				
			③	✓				
			④					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：自ら進んで学修をすることができる。 実行力：提出物の期限を守ることができる。 課題発見力：指導案、レポートを作成する上で、課題を見極めることができる。 創造力：指導案、レポートを作成する上で、創造力を発揮することができる。 発信力：指導内容を熟知した上で、指導ができる。ものづくり計画を立案し、発信することができる。 傾聴力：計画者の案を理解し、グループ活動することができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④					
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
グループ内で協力しながら、子どもの育ちを理解し、適した造形あそびを計画立案し、指導案を完成させ、実施することができるようにする。 子どものことを考えながら、造形素材について会得し、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。 S(秀)になるためには、全課題の合計が90点以上であること。	子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができる。 造形素材のレポートを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。 Cについては、15週予定表参照のこと。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション	講義	授業内容を理解することができる	(復習) 授業で学修したことを復習する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
2	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
3	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
4	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
5	造形あそびの実践① (岡崎げんき館活動)	学外活動 フィードバック (活動の評価)	計画した内容に基づいて子どもの指導ができる 親と関わることができる	(予習) 活動の準備できていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 傾聴力
6	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
7	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
8	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備できていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習)活動の準備できていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
10	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習)活動の準備できていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
11	ゼミ抄録集の原稿作成	演習 フィードバック(演習の評価)	活動内容を文章化できる	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)原稿の推敲をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ゼミ抄録集の原稿作成	演習 フィードバック(演習の評価)	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)原稿の推敲をする。	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)原稿の推敲をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ゼミ抄録集の原稿作成 ゼミ報告会の原稿作成	演習 フィードバック(演習の評価)	活動内容を文章化できる	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)原稿の推敲をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	ゼミ報告会の原稿作成 リハーサルの実施	演習 フィードバック(演習の評価)	活動内容を文章化できる	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)原稿の推敲をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	後期の活動動画を視聴し、個人または、グループで反省を行う。	オンデマンド	後期の活動の反省を行うことができる。	(予習)オンデマンドの環境の準備を行う。 (復習)反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力